

まちづくり町民アンケート結果報告書（概要版）

1. 調査概要

(1) 調査目的

新しい総合計画を策定するに当たり、様々な視点から検討を行うことを目的として、町民を対象に、まちに対する考え方や意見等を把握するために実施した。

(2) 調査の種類

調査の種類としては、

- ① 18歳以上町民向け
 - ② 小学6年生向け
 - ③ 中学2年生向け
 - ④ 音更高校2年生向け
 - ⑤ 高校2年生世代向け
- の5種類を実施した。

| 調査の種類 | 配布方法 | 配布数（件） | 回収数（件） | 回収率（%） |
|------------|-----------|--------|--------|--------|
| ①18歳以上町民向け | 郵送配布、郵送回収 | 1,500 | 599 | 39.9 |
| ②小学6年生向け | 学校配布、学校回収 | 465 | 361 | 77.6 |
| ③中学2年生向け | 学校配布、学校回収 | 454 | 412 | 90.7 |
| ④音更高校2年生向け | 学校配布、学校回収 | 124 | 115 | 92.7 |
| ⑤高校2年生世代向け | 郵送配布、郵送回収 | 417 | 135 | 32.4 |

(3) 調査項目

① 18歳以上町民向け

| | 調査項目 |
|-------------|------------------------|
| 暮らしの満足度・重要度 | 問1 暮らしの満足度・重要度 |
| まちの全体的な評価 | 問2 住み良さ |
| | 問3 定住について |
| | 問4 町外に移りたい理由 |
| 産業振興 | 問5 産業振興のために力を注ぐべき分野 |
| | 問6 農業振興のために力を注ぐべきこと |
| | 問7 農業との関わりを深めるためにしたいこと |
| 行政活動 | 問8 まちづくりへの考え |
| | 問9 町民協働によるまちづくりに重要なもの |

| | |
|-----------------|-----------------------------|
| まちづくりへの関心や参加状況 | 問 10 まちづくり活動への参加 |
| | 問 11 まちづくり活動に参加していない理由 |
| | 問 12 参加を希望するまちづくり活動 |
| 広報、情報提供 | 問 13 充実すべき情報伝達手段 |
| | 問 14 広報・ホームページを見る頻度 |
| | 問 15 取得したい情報 |
| 移住・定住 | 問 16 移住・定住促進のために重要なこと |
| 行政改革 | 問 17 行政改革で重点をおくべき項目 |
| | 問 18 廃止してもよいもの |
| 男女共同参画社会 | 問 19 男女の地位 |
| | 問 20 生活における優先度 |
| | 問 21 DV（ドメスティック・バイオレンス）について |
| まちの将来像 | 問 22 希望するまちの姿 |
| 持続可能な開発目標（SDGs） | 問 23 SDGs の認知度 |
| | 問 24 関心のある SDGs の 17 の目標 |
| 地域福祉 | 問 25 ボランティア活動への参加 |
| | 問 26 ボランティア活動に参加していない理由 |
| | 問 27 地域活動の範囲 |
| | 問 28 福祉に関する情報源 |
| | 問 29 地域貢献 |
| | 問 30 収入や資産がなく困っていることについての相談 |
| | 問 31 外出の頻度 |
| | 問 32-1 現在の状況までの経過 |
| | 問 32-2 現在の状況の理由 |
| | 問 33 音更町社会福祉協議会の活動の認知度 |
| 自由意見 | 問 34 まちづくりに対する自由意見 |
| 回答者属性 | 1) 性別 |
| | 2) 出身地 |
| | 3) 居住年数 |
| | 4) 勤務先・通学先 |
| | 5) 居住地 |
| | 6) 年齢 |
| | 7) 職業 |
| | 8) 居住形態 |
| | 9) 同居家族 |
| | 10) 町内会加入状況 |

② 小学6年生向け

| | 調査項目 |
|-------|--------|
| 回答者属性 | 問 1 性別 |

| | |
|------------------|-----------------------|
| まちの状況 | 問 2 現在の音更町について |
| | 問 3 住みやすさ |
| | 問 4-1 良いところ、自慢できること |
| | 問 4-2 悪いところ、いやだなと思うこと |
| まちの将来像 | 問 5 希望するまちの姿 |
| | 問 6 取り組むべき課題 |
| 持続可能な開発目標 (SDGs) | 問 7 SDGs の認知度 |

③ 中学 2 年生向け、音更高校 2 年生向け、高校 2 年生世代向け

| | 調査項目 |
|------------------|--------------------------|
| 回答者属性 | 1) 性別 |
| | 2) 居住地 |
| 暮らしの満足度 | 問 1 生活の中での満足度 |
| まちの住みやすさ | 問 2 住みやすさ |
| | 問 3 定住について |
| | 問 3-1 町外に移りたい理由 |
| まちの将来像 | 問 4 希望するまちの姿 |
| | 問 5 力を注ぐべきこと |
| 地域活動 | 問 6 地域活動への関心 |
| | 問 7 地域活動やボランティアへの参加希望 |
| | 問 8 参加を希望する活動 |
| まちの状況 | 問 9-1 良いところ・自慢できるところ |
| | 問 9-2 悪いところ・良くなってほしいところ |
| 自由意見 | 問 10 まちづくりの意見・アイデア |
| 持続可能な開発目標 (SDGs) | 問 11 SDGs の認知度 |
| | 問 12 関心のある SDGs の 17 の目標 |

(4) 抽出方法

小学 6 年生、中学 2 年生、音更高校 2 年生については、各学級において調査票を配布し、直接回答、回収した。

高校 2 年生世代は住民基本台帳から対象者全員を抽出した。

18 歳以上の町民については、住民基本台帳から無作為抽出とした。

(5) 調査時期

小学 6 年生、中学 2 年生、音更高校 2 年生については、令和元年 7 月 8 日（月）配布～令和元年 7 月 26 日（金）回収分とした。

高校 2 年生世代については、令和元年 7 月 30 日（火）配布～令和元年 9 月 9 日（月）回収分とした。

18 歳以上の町民については、令和元年 7 月 31 日（水）配布～令和元年 9 月 9 日（月）回収分とした。

2. 調査結果概要

(1) 18歳以上町民向け

①現在の満足度

- ・満足度（「満足」＋「やや満足」）が最も高かったのは、「日常の買い物環境」の48.9%、次いで「ごみの収集・リサイクル」が44.2%。
- ・不満度（「不満」＋「やや不満」）が最も高かったのは、「道路や歩道の除排雪」の33.2%、次いで「観光地としての魅力づくり」が30.9%。

②今後の重要度

- ・重要度（「重要である」＋「やや重要である」）が最も高かったのは、「自然災害などに対する防災体制」の72.1%、次いで「病院・診療所などの医療環境」が71.5%。
- ・重要度が最も低かった（「重要ではない」＋「あまり重要ではない」）のは、「町内会活動などのコミュニティ活動」の7.2%、次いで「文化財や史跡の伝承保存」が5.7%。

③今後のまちづくりで特に重要だと思うもの

- ・「1番目に重要」及び「2番目に重要」では「子育ての環境や支援」が最も多くそれぞれ16.4%、6.3%。
- ・「3番目に重要」では「働く場の確保」が最も多く5.3%。

④住み良さ

- ・「どちらかといえば住み良い」が最も多く54.4%、次いで「住み良い」が32.6%。

⑤定住について

- ・「今の場所に住み続けたい」が最も多く74.1%、次いで「町内の別の場所に移りたい」が9.7%。

⑥町外に移りたい理由

- ・「交通が不便だから」が最も多く42.9%、次いで「余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから」が31.2%。

⑦産業振興のために力を注ぐべき分野

- ・「農業の振興」が最も多く49.6%、次いで「地域物産や特産品などの開発・振興」が37.6%。

⑧農業振興のために力を注ぐべきこと

- ・「後継者、農業労働力の確保、育成」が最も多く45.4%、次いで「ブランド化、製品開発など付加価値を高めるための取組」が41.4%。

⑨農業との関わりを深めるためにしたいこと

- ・「できるかぎり地元の農畜産物を食べたい（家族や友人に食べさせたい）」が最も多く80.8%、次いで「地元の農畜産物を贈答品で利用するなど、町外にPRしたい」が56.8%。

⑩まちづくりへの考え

- ・最も肯定的（「そう思う」＋「やや思う」）であったのは、「音更町のまちづくりに関心がある」の77.8%、次いで「音更町のまちづくりには町民の意向が反映されている」が42.8%。

⑪町民協働によるまちづくりに重要なもの

- ・「まちづくりに関する情報（行政からの情報・町民が持つ情報）を共有する」が最も多く42.1%、次いで「まちづくりへの提案や提言の機会を増やす（アンケートや意見提案など）」が38.7%。

⑫まちづくり活動への参加

- ・「参加していない」が最も多く 41.2%、次いで「資源のムダづかいをなくし環境を守る“リサイクル活動や省資源活動”」が 33.4%。

⑬まちづくり活動に参加していない理由

- ・「仕事や家事で忙しいから」が最も多く 59.1%、次いで「情報が入らないから」が 27.5%。

⑭参加を希望するまちづくり活動

- ・「資源のムダづかいをなくし環境を守る“リサイクル活動や省資源活動”」が最も多く 28.5%、次いで「美しいまちをつくるための“花などを植える活動や清掃活動”」及び「高齢者や困っている人たちの見守り・声かけ、支え合いなど“地域福祉活動”」がそれぞれ 27.7%。

⑮充実すべき情報伝達手段

- ・「町の広報紙」が最も多く 64.1%、次いで「町のホームページ、携帯サイト」が 33.6%。

⑯広報・ホームページを見る頻度

- ・(1)「広報おとふけ」を見る頻度は、「毎月読んでいる」が最も多く 57.3%、次いで「必要・関心のある時だけ読んでいる」が 28.2%。
- ・(2)音更町のホームページを見る頻度は、「(見ることはできるが)見ない」が最も多く 29.9%、次いで「年に数回」が 28.9%。

⑰まちづくりや地域に関する取得したい情報

- ・「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」が最も多く 40.7%、次いで「各種制度の内容やそれを利用するための情報」が 36.4%。

⑱移住・定住促進のために重要なこと

- ・「働ける場を増やす(企業誘致、起業しようとする人への支援など)」が 42.2%、「子どもを産み育てやすいまちにする」が 38.1%。

⑲行政改革で重点をおくべき項目

- ・「町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり」が最も多く 43.1%、次いで「職員の意識改革、能力向上などの人材育成」が 33.2%。

⑳男女の地位

- ・「分からない」が最も多く 32.6%、次いで「どちらかと言えば、男性が優遇されている」が 32.1%。

㉑生活における優先度

- ・「家庭を優先している」が最も多く 22.7%、次いで「仕事を優先している」が 21.0%。

㉒DV(ドメスティック・バイオレンス)について

- ・(1)身体的な暴力の「①されたこと」では「ある」が 4.2%、「ない」が 86.1%。
「②したこと」では、「ある」が 4.0%、「ない」が 81.8%。
- ・(2)精神的な暴力の「①されたこと」では「ある」が 12.4%、「ない」が 77.6%。
「②したこと」では、「ある」が 7.0%、「ない」が 78.6%。

㉓希望するまちの姿

- ・「1番目」では「便利で快適に暮らせるまち」が最も多く 32.7%。
- ・「2番目」では「健康で安心して暮らせるまち」が最も多く 25.5%。
- ・「3番目」では「美しい自然環境が豊かなまち」が最も多く 15.7%。

②④持続可能な開発目標（SDGs）の認知度

- ・「知らない」が最も多く 80.0%、次いで「聞いたことはある」が 8.8%。認知度（「聞いたことはある」＋「だいたいの意味がわかる」）としては 17.1%。

②⑤関心のある SDGs の 17 の目標

- ・「目標 11 住み続けられるまちづくりを」が最も多く 52.1%、次いで「目標 3 すべての人に健康と福祉を」が 48.2%。

②⑥ボランティア活動への参加

- ・「参加していない」が最も多く 50.9%、次いで「スポーツ・文化活動」が 13.0%。

②⑦ボランティア活動に参加していない理由

- ・「仕事や家事で忙しいから」が最も多く 56.7%、次いで「情報が入らないから」が 25.2%。

②⑧地域活動の範囲

- ・「町内会単位」が最も多く 65.6%、次いで「小学校区単位」が 15.0%。

②⑨福祉に関する情報の入手先

- ・「町の広報紙」が最も多く 72.6%、次いで「町内会の回覧板」が 27.0%。

②⑩地域貢献

- ・①支援できることでは、「安否確認等の声掛け」が最も多く 30.4%、次いで「除雪の手伝い」が 25.7%。
- ・②支援を受けたいことでは、「除雪の手伝い」が最も多く 30.4%、次いで「災害時の支援」が 29.7%。

②⑪収入や資産がなく困っていることについての相談

- ・「相談したことはない」が最も多く 62.4%、次いで「そのような人はいない（把握していない）」が 30.9%。

②⑫外出の頻度

- ・「仕事、遊びなどで頻繁に外出する」が最も多く 63.4%、次いで「仕事、遊びなどで時々外出する」が 20.9%。

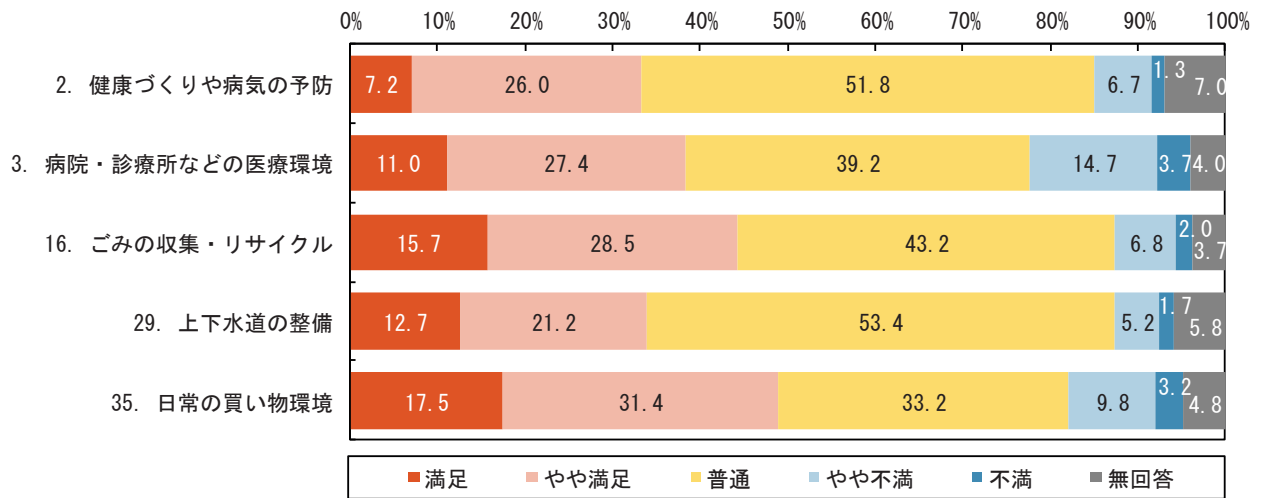
②⑬音更町社会福祉協議会の活動の認知度

- ・「社協だより」が最も多く 51.3%、次いで「喫茶はっぴい〜」が 43.7%。

②⑭回答者属性

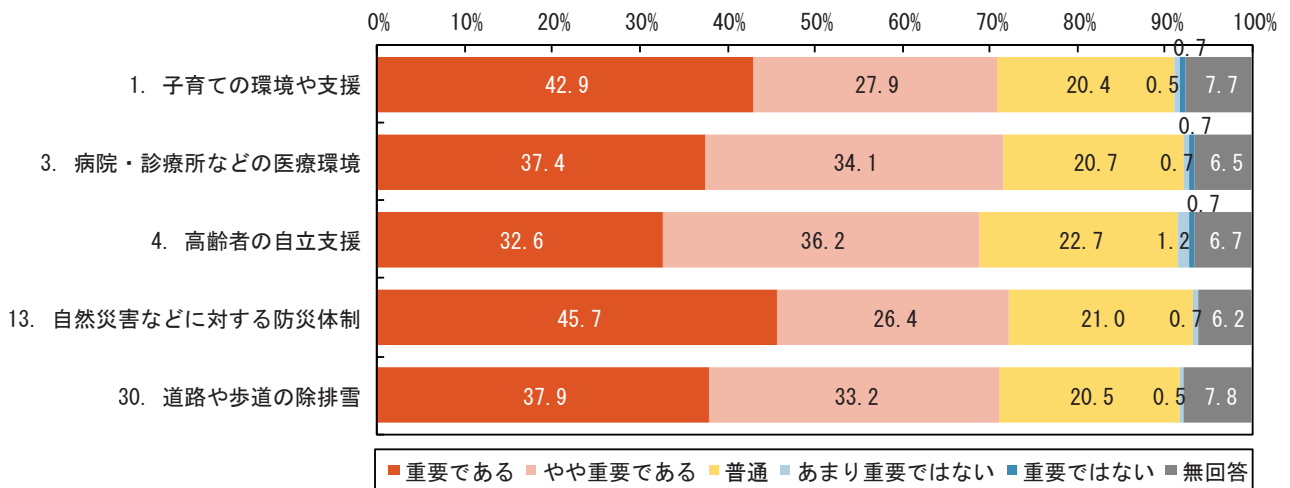
- ・1)性別は「男性」が 38.7%、「女性」が 56.1%。
- ・2)出身地は「音更町外で生まれたが、現在音更町に住んでいる」が最も多く 70.3%、次いで「音更町で生まれ、ずっと音更町に住んでいる」が 14.9%。
- ・3)居住年数は「20年以上」が 55.6%、「10年以上20年未満」が 22.7%。
- ・4)勤務先・通学先は「音更町内」が最も多く 37.2%、次いで「帯広市」が 24.2%。
- ・5)居住地は「木野市街（鈴蘭地区・緑陽台地区・共栄台地区を含む）」が最も多く 48.1%、次いで「音更市街」が 16.0%。
- ・6)年齢は「65～69歳」及び「70～74歳」が最も多くそれぞれ 11.9%、次いで「75歳以上」が 10.7%。
- ・7)職業は「商業・サービス業・金融業など」が最も多く 17.7%、次いで「無職」が 14.4%。
- ・8)居住形態は「持ち家（1戸建て）」が最も多く 77.0%、次いで「賃貸（マンション等集合住宅）」が 12.9%。
- ・9)同居家族は「配偶者（妻または夫）」が最も多く 37.4%、次いで「単身」が 7.7%。
- ・10)町内会は「加入している」が最も多く 75.0%、次いで「加入していない」が 15.2%。

現在の満足度



※満足度が上位5位の選択肢のみ抜粋

今後の重要度



※重要度が上位5位の選択肢のみ抜粋

【加重平均値*による平成 20 年度（前々回）、平成 26 年度（前回）との比較】

前々回と比較すると、多くの項目で満足度は高まっているが、重要度については下がっている項目が多くなっている。

前回との比較では、満足度の高まっている項目と満足度が下がった項目はほぼ同数となっている。重要度については多くの項目で低下している。

加重平均値による満足度と重要度の比較（H20、H26、R1）

| | 前々回 (平成20年度) | | 前回 (平成26年度) | | 今回 (令和元年度) | |
|---------------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| | 満足度 | 重要度 | 満足度 | 重要度 | 満足度 | 重要度 |
| 1. 子育ての環境や支援 | 0.16 | 1.29 | 0.25 | 1.26 | 0.21 | 1.21 |
| 2. 健康づくりや病気の予防 | 0.25 | 1.14 | 0.40 | 1.15 | 0.33 | 1.08 |
| 3. 病院・診療所などの医療環境 | 0.46 | 1.34 (最高値) | 0.44 | 1.28 (最高値) | 0.29 | 1.14 |
| 4. 高齢者の自立支援 | -0.08 | 1.15 | 0.02 | 1.07 | 0.01 | 1.06 |
| 5. 障がい者（児）の生活支援 | -0.05 | 1.11 | 0.05 | 1.02 | 0.07 | 0.97 |
| 6. 男女が等しく社会参加できる環境づくり | 0.02 | 0.45 | 0.09 | 0.55 | 0.14 | 0.60 |
| 7. 町民ボランティア活動の育成・支援 | 0.00 | 0.49 | 0.03 | 0.48 | 0.03 | 0.49 |
| 8. 消費生活に関する情報提供や相談体制 | -0.11 | 0.55 | 0.01 | 0.51 | 0.03 | 0.47 |
| 9. 町内会活動などのコミュニティ活動 | 0.11 | 0.37 | 0.15 | 0.40 | 0.07 | 0.40 |
| 10. 交通安全への取組 | 0.10 | 0.82 | 0.15 | 0.80 | 0.15 | 0.75 |
| 11. 地域での防犯対策 | -0.02 | 1.02 | 0.05 | 0.96 | 0.05 | 0.87 |
| 12. 消防・救急体制 | 0.28 | 1.17 | 0.41 | 1.11 | 0.38 | 0.96 |
| 13. 自然災害などに対する防災体制 | -0.04 | 1.10 | 0.08 | 1.06 | 0.09 | 1.25 (最高値) |
| 14. 自然環境の保全 | 0.16 | 0.91 | 0.20 | 0.77 | 0.21 | 0.79 |
| 15. 騒音・振動・悪臭などの公害防止 | 0.13 | 0.91 | 0.14 | 0.79 | 0.19 | 0.71 |
| 16. ごみの収集・リサイクル | 0.48 | 1.16 | 0.53 | 1.04 | 0.51 | 0.92 |
| 17. 生涯学習の情報や機会の提供 | 0.16 | 0.48 | 0.18 | 0.43 | 0.12 | 0.47 |
| 18. 小・中学校の教育環境 | 0.11 | 1.04 | 0.24 | 0.99 | 0.13 | 0.89 |
| 19. 障がいのある児童などの教育環境 | 0.07 | 0.90 | 0.16 | 0.86 | 0.07 | 0.80 |
| 20. 芸術文化活動の促進 | 0.14 | 0.32 | 0.16 | 0.35 | 0.05 | 0.35 |
| 21. 芸術文化施設の充実 | 0.19 | 0.29 | 0.21 | 0.31 (最低値) | 0.12 | 0.33 |
| 22. 文化財や史跡の伝承保存 | 0.04 | 0.30 | 0.10 | 0.33 | 0.05 | 0.32 (最低値) |
| 23. スポーツ活動の推進 | 0.15 | 0.41 | 0.16 | 0.50 | 0.19 | 0.49 |
| 24. スポーツ施設の充実 | 0.26 | 0.47 | 0.22 | 0.57 | 0.24 | 0.55 |
| 25. 青少年の健全育成 | 0.03 | 0.72 | 0.10 | 0.63 | 0.13 | 0.63 |
| 26. 国際交流・都市間交流 | 0.02 | 0.27 (最低値) | -0.01 | 0.37 | -0.02 | 0.40 |
| ★27. 公園や緑地の整備・管理【今回、前回のみの選択肢】 | | | 0.28 | 0.78 | 0.25 | 0.73 |
| ★公園や緑地の整備【前々回のみの選択肢】 | 0.44 | 0.71 | | | | |
| ★公園や緑地の管理【前々回のみの選択肢】 | 0.32 | 0.66 | | | | |
| 28. 公営住宅環境の整備 | 0.08 | 0.49 | 0.14 | 0.53 | 0.15 | 0.44 |
| 29. 上下水道の整備 | 0.35 | 0.88 | 0.39 | 0.89 | 0.40 | 0.77 |
| 30. 道路や歩道の除排雪 | -0.12 | 1.24 | -0.06 | 1.23 | -0.08 | 1.18 |
| ☆31. 道路の整備・管理【今回、前回のみの選択肢】 | | | -0.04 | 0.99 | -0.06 | 0.99 |
| ☆道路の整備【前々回のみの選択肢】 | -0.06 | 0.88 | | | | |
| ☆道路の管理【前々回のみの選択肢】 | -0.06 | 0.82 | | | | |
| ●32. 路線バスの利用のしやすさ【今回のみの選択肢】 | | | | | -0.21 | 0.78 |
| ●33. コミュニティバスの利用のしやすさ【今回のみの選択肢】 | | | | | -0.18 | 0.72 |
| ◆バスの利用のしやすさ【前回、前々回のみの選択肢】 | -0.22 | 0.70 | -0.06 | 0.64 | | |
| 34. まちの景観 | 0.06 | 0.57 | 0.20 | 0.62 | 0.15 | 0.58 |
| 35. 日常の買い物環境 | 0.54 (最高値) | 0.93 | 0.67 (最高値) | 1.04 | 0.53 (最高値) | 0.96 |
| 36. 中心市街地のにぎわいづくり | -0.23 | 0.66 | -0.04 | 0.72 | -0.08 | 0.65 |
| 37. 農業の振興 | 0.13 | 0.95 | 0.22 | 0.90 | 0.31 | 0.83 |
| ▲38. 地産地消・食育の取組【今回、前回のみの選択肢】 | | | 0.16 | 0.92 | 0.24 | 0.88 |
| 39. 企業誘致や企業活動の支援 | -0.18 | 0.83 | -0.02 | 0.79 | -0.01 | 0.75 |
| 40. 観光地としての魅力づくり | -0.34 | 0.92 | -0.27 | 0.97 | -0.26 (最低値) | 0.94 |
| 41. 働く場の確保 | -0.55 (最低値) | 1.30 | -0.33 (最低値) | 1.18 | -0.26 (最低値) | 1.09 |
| 42. 広報紙やホームページなどの情報提供 | 0.27 | 0.67 | 0.34 | 0.69 | 0.28 | 0.63 |
| 43. 町民と行政の協働によるまちづくり体制 | -0.01 | 0.68 | 0.10 | 0.69 | 0.08 | 0.61 |
| 44. 窓口での対応や窓口サービスの提供 | 0.14 | 0.80 | 0.28 | 0.82 | 0.32 | 0.73 |

※回答者数によって平均値を算出したものを「加重平均」という。

満足度の算出：(満足×2+やや満足×1+やや不満×-1+不満×-2) ÷回答者数

重要度の算出：(重要×2+やや重要×1+あまり重要でない×-1+重要でない×-2) ÷回答者数

数値の範囲は-2～+2の間で、-2に近いほど評価は低く、+2に近いほど評価は高い、とみる。

★：「27. 公園や緑地の整備・管理」は今回、前回のみの選択肢である。前々回は「公園や緑地の整備」「公園や緑地の管理」に区分した選択肢であった。

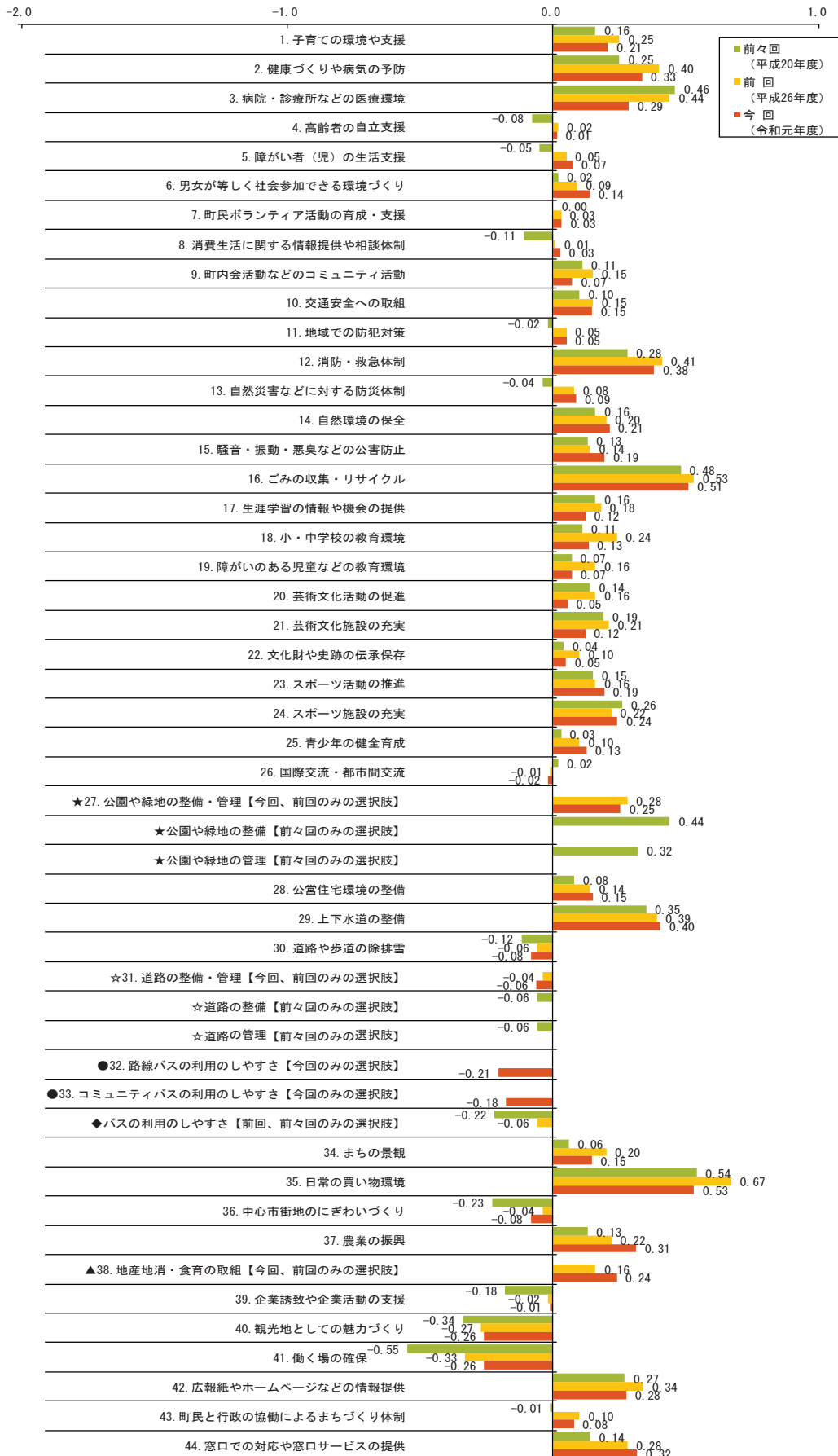
☆：「31. 道路の整備・管理」は今回、前回のみの選択肢である。前々回は「道路の整備」「道路の管理」に区分した選択肢であった。

●：「32. 路線バスの利用のしやすさ」、「33. コミュニティバスの利用のしやすさ」は今回のみの選択肢である。

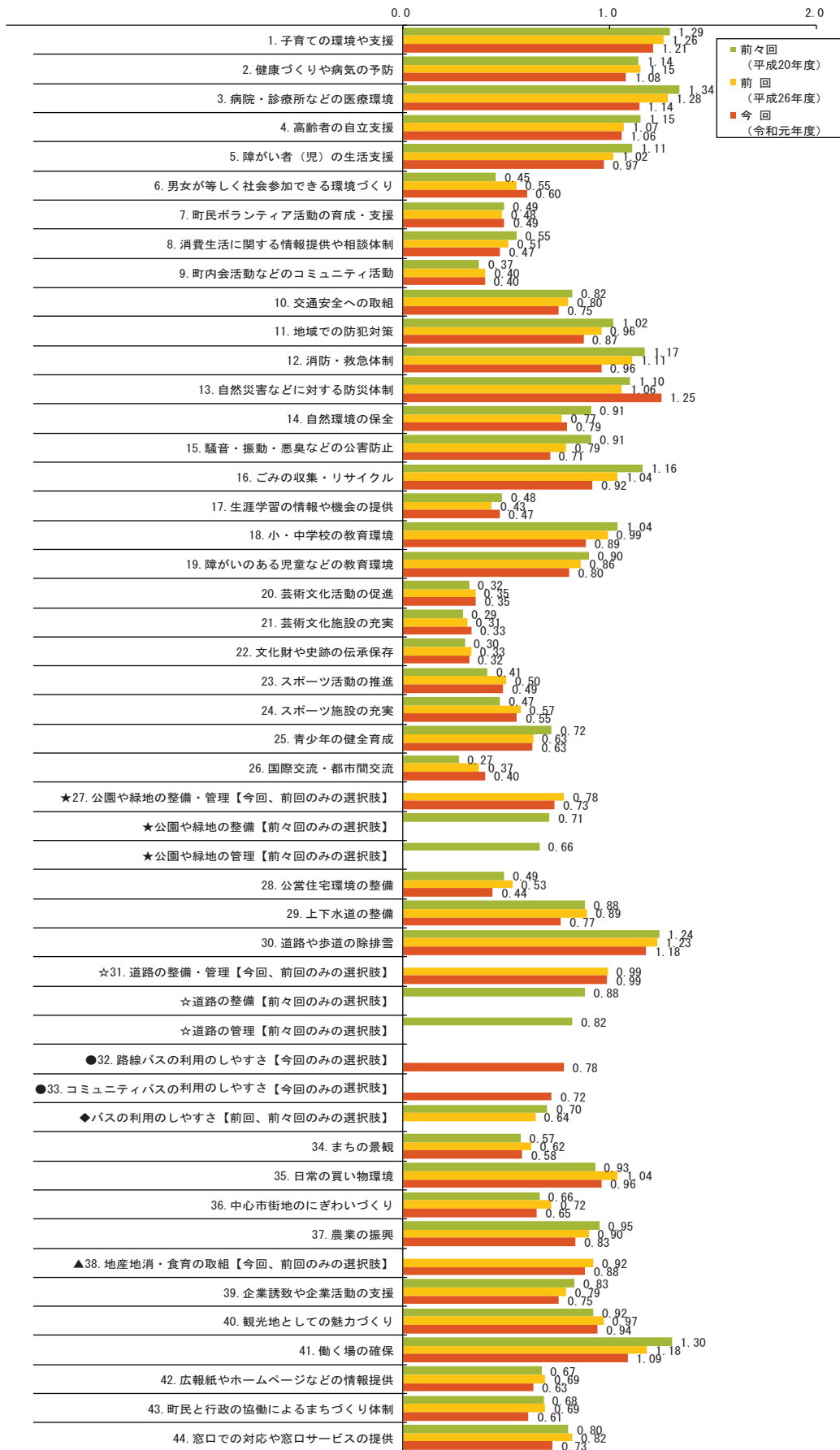
◆：「バスの利用のしやすさ」は前回、前々回のみの選択肢である。

▲：「38. 地産地消・食育の取組」は今回、前回のみの選択肢である。

加重平均値による満足度の比較（H20、H26、R1）



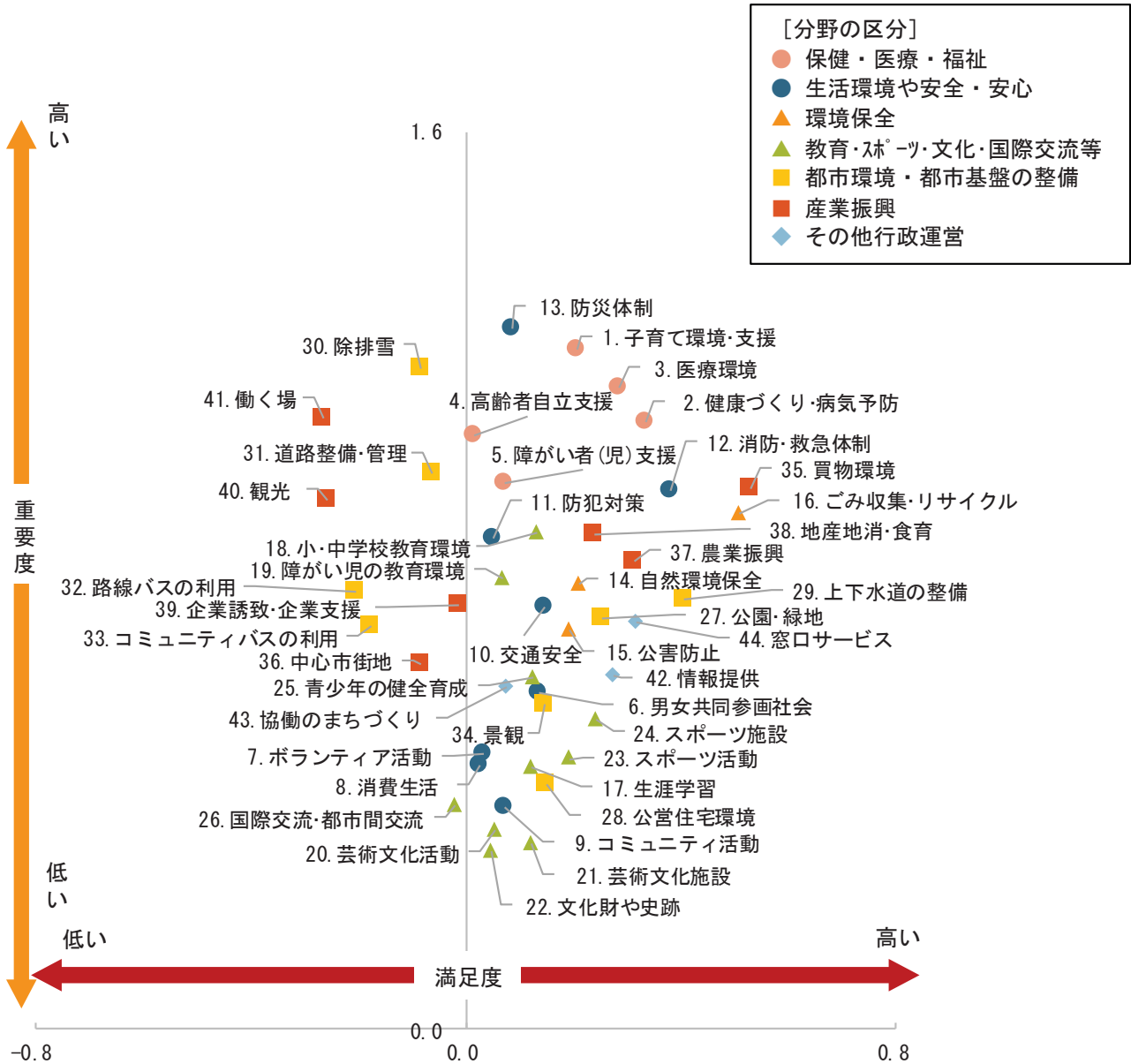
加重平均値による重要度の比較 (H20、H26、R1)



縦軸を「重要度」、横軸を「満足度」としてグラフで示すと、縦軸（重要度）では全て「0.0以上」でプラスの中に集中し、横軸（満足度）は「-1.0～+1.0」の前後に集中している。

満足度が低くて重要度が高い位置にあるものは、「30. 除排雪」、「31. 道路整備・管理」、「40. 観光」、「41. 働く場」などである。

加重平均値による満足度と重要度 (R1)

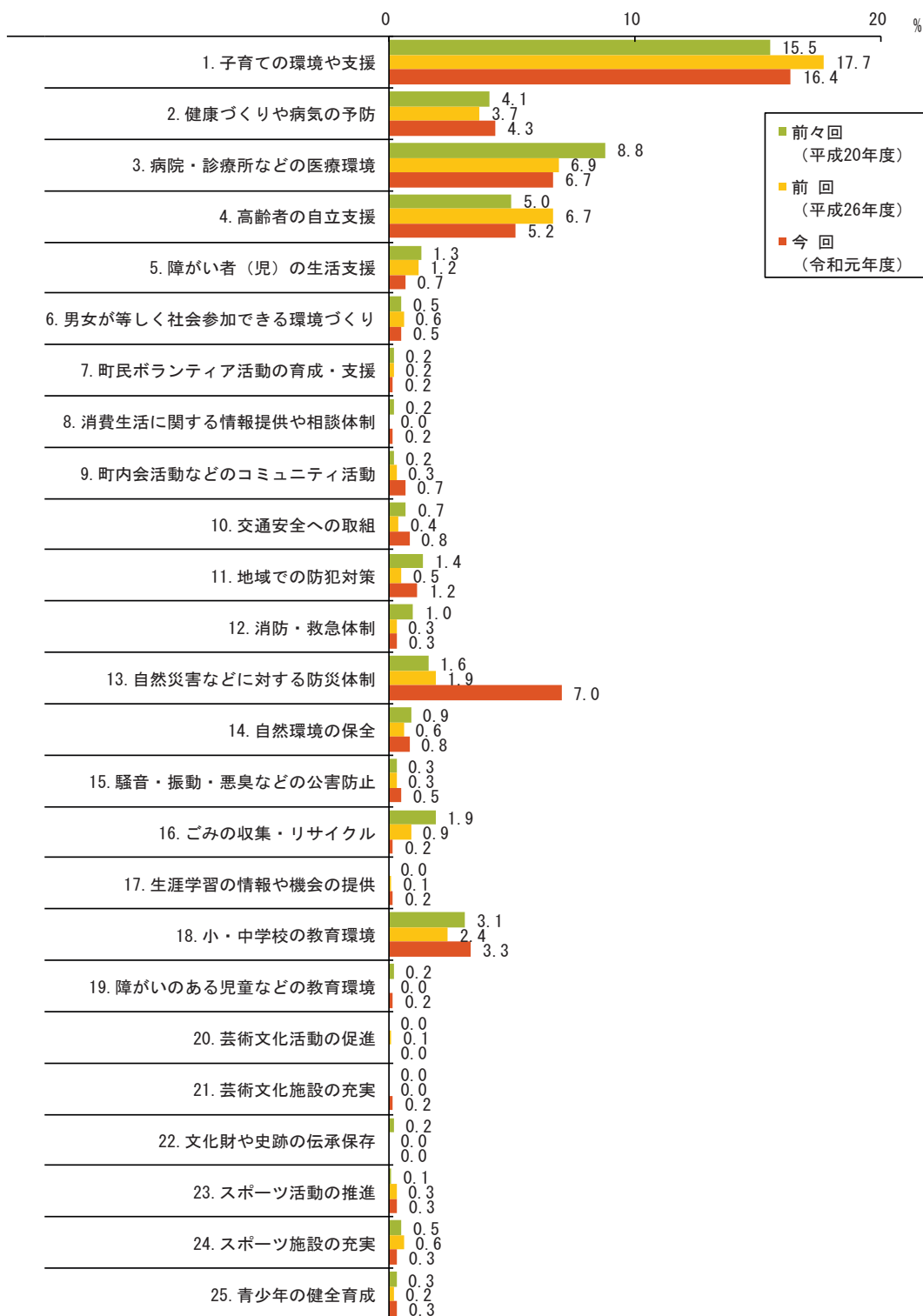


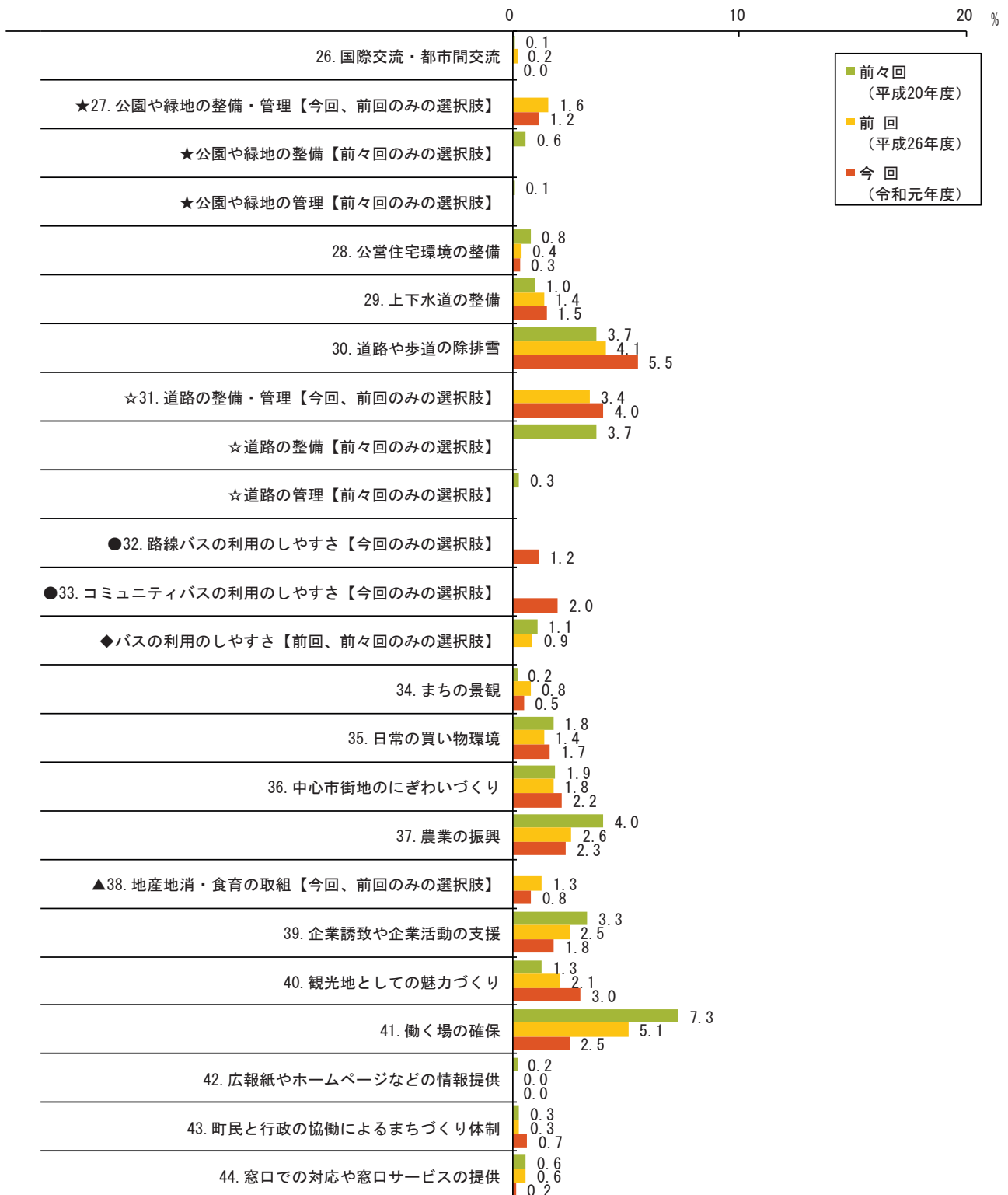
【平成20年度（前々回）、平成26年度（前回）との比較（1番目に重要なもの）】

前々回、前回と同様、「1. 子育ての環境や支援」が最も多く、次いで「3. 病院・診療所などの医療環境」が多くなっている。

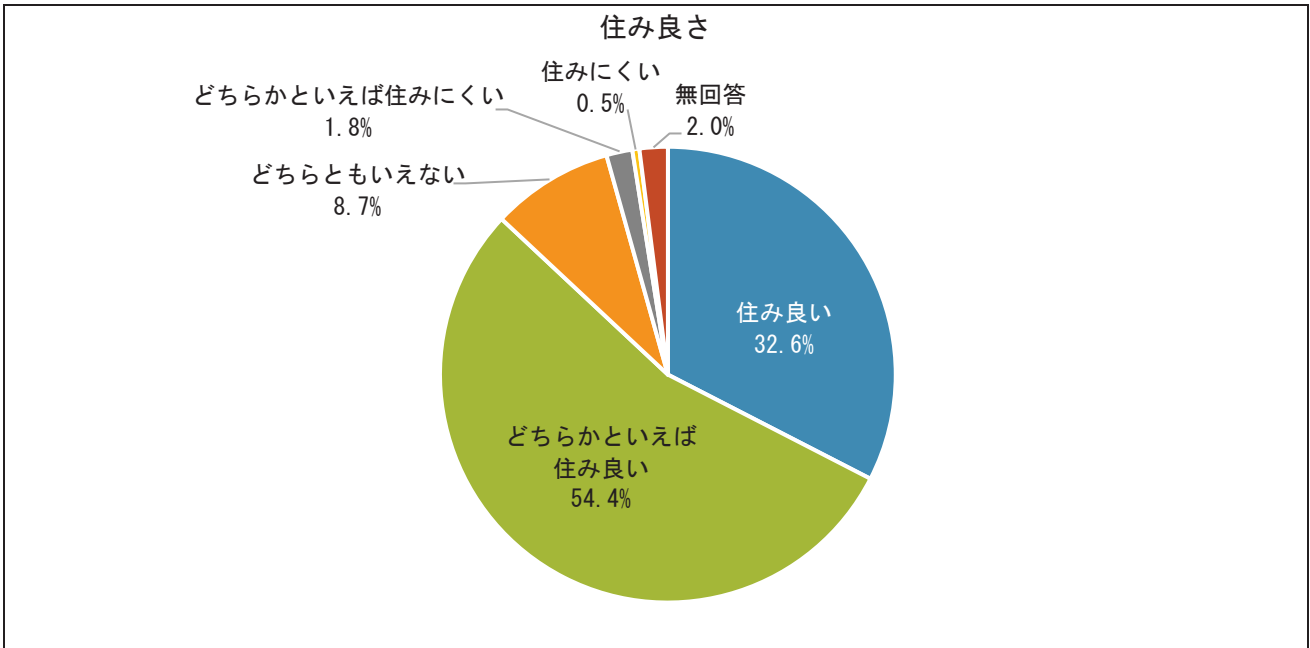
また、前々回、前回と比較して数値が大きくなったものは、「13. 自然災害などに対する防災体制」、「30. 道路や歩道の除排雪」となっている。

前々回、前回との比較（1番目に重要なもの）





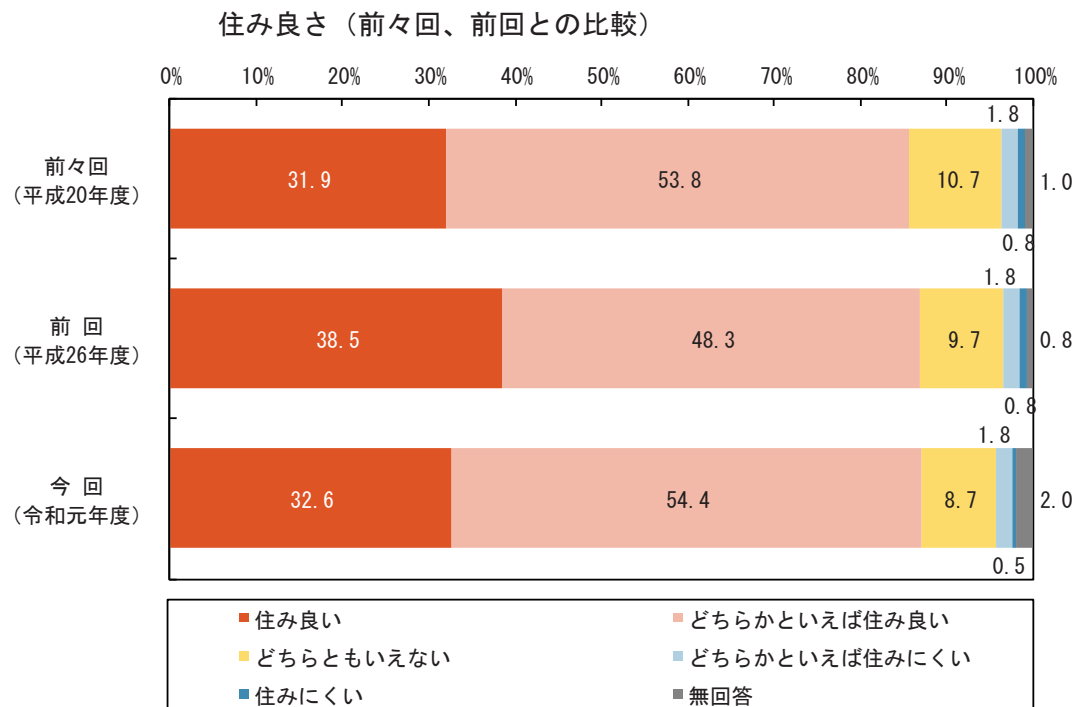
- ★：「27. 公園や緑地の整備・管理」は今回、前回のみの選択肢である。前々回は「公園や緑地の整備」「公園や緑地の管理」に区分した選択肢であった。
- ☆：「31. 道路の整備・管理」はは今回、前回のみの選択肢である。前々回は「道路の整備」「道路の管理」に区分した選択肢であった。
- ：「32. 路線バスの利用のしやすさ」、「33. コミュニティバスの利用のしやすさ」は今回のみの選択肢である。
- ◆：「バスの利用のしやすさ」は前回、前々回のみの選択肢である。
- ▲：「38. 地産地消・食育の取組」は今回、前回のみの選択肢である。

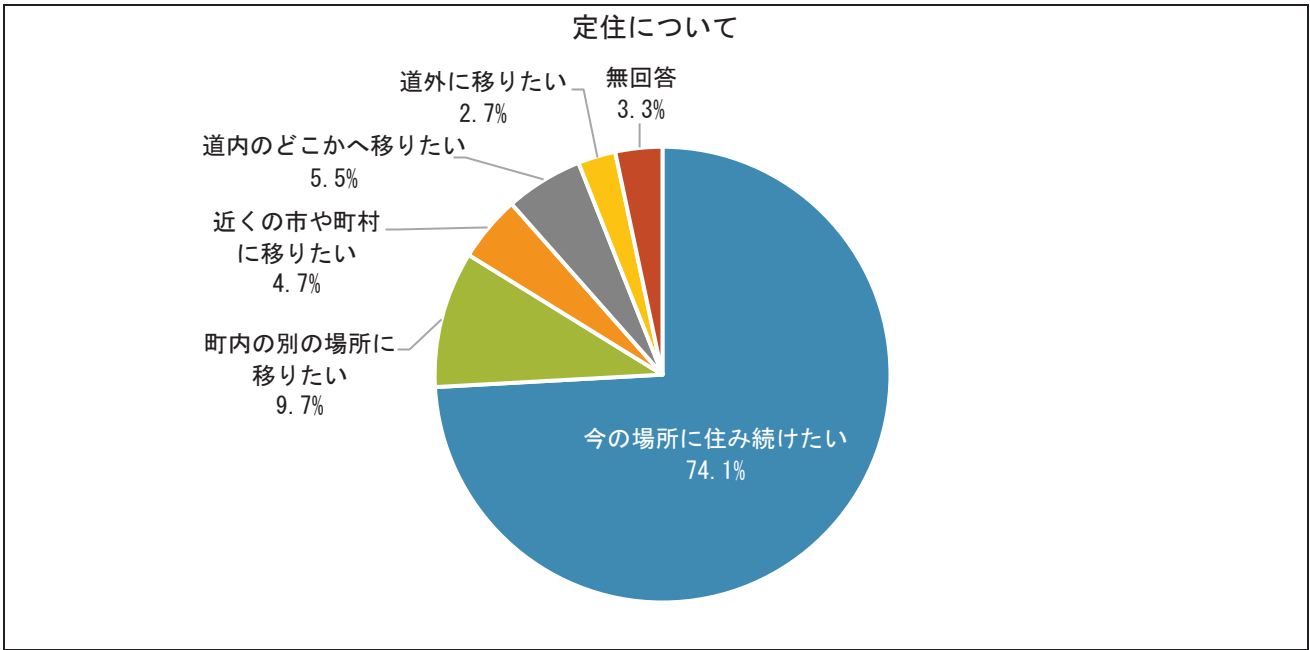


【平成 20 年度（前々回）、平成 26 年度（前回）との比較】

現在の音更町の住み良さは、前々回、前回と同様、「どちらかといえば住み良い」が最も多く、次いで「住み良い」が多くなっている。

また、「住み良い」と回答した割合は、前々回より0.7ポイント増加しているが、前回よりは5.9ポイント減少している。

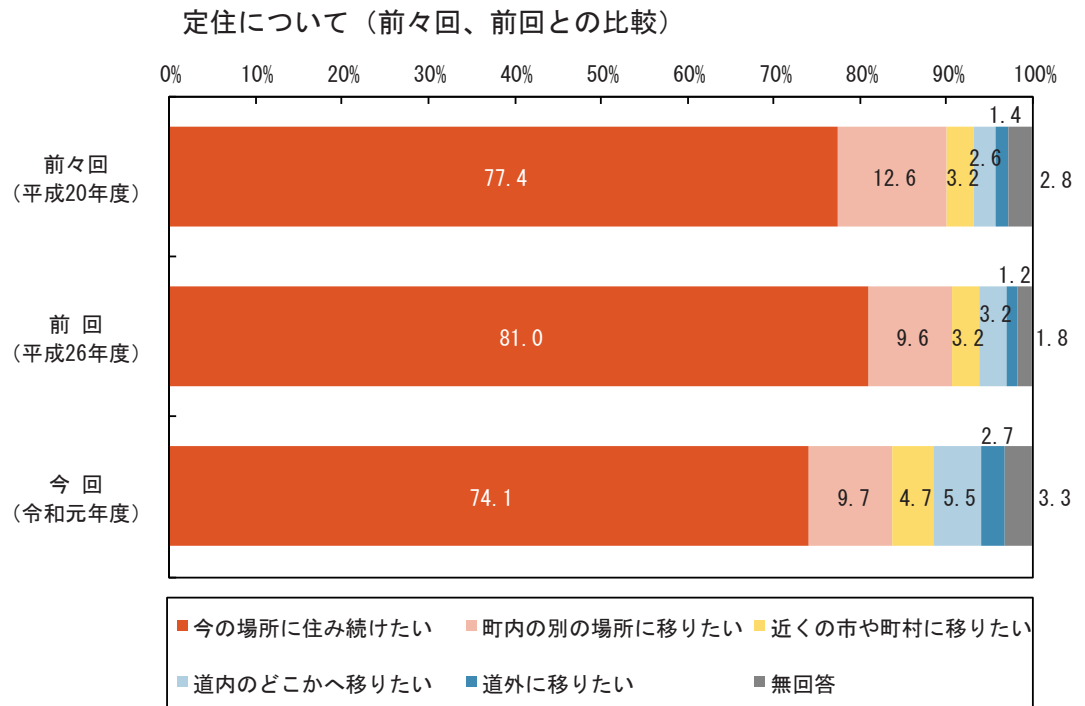




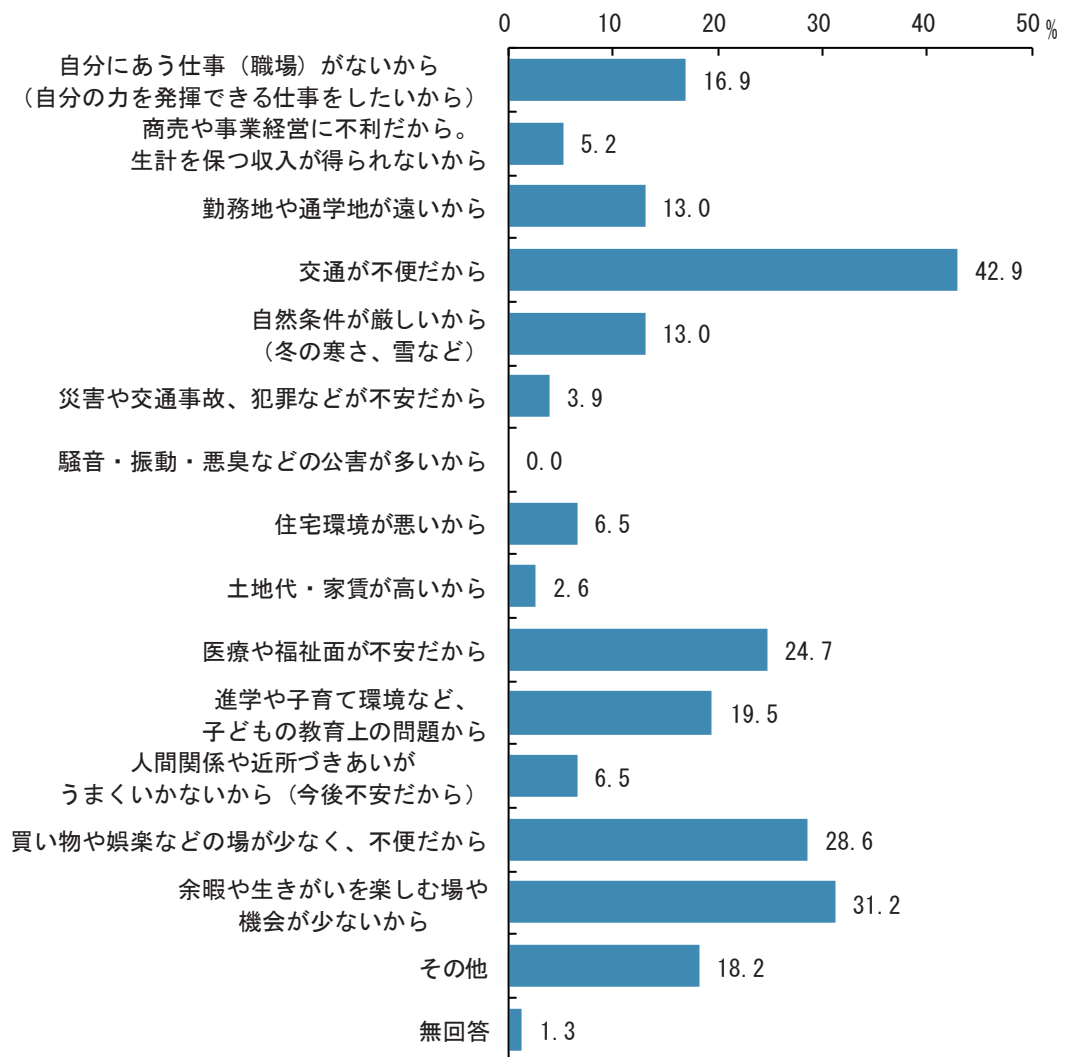
【平成 20 年度（前々回）、平成 26 年度（前回）との比較】

定住については、前々回、前回と同様、「今の場所に住み続けたい」が最も多く、次いで「町内の別の場所に移りたい」が多くなっている。

また、「今の場所に住み続けたい」と回答した割合は、前々回及び前回よりも減少している。



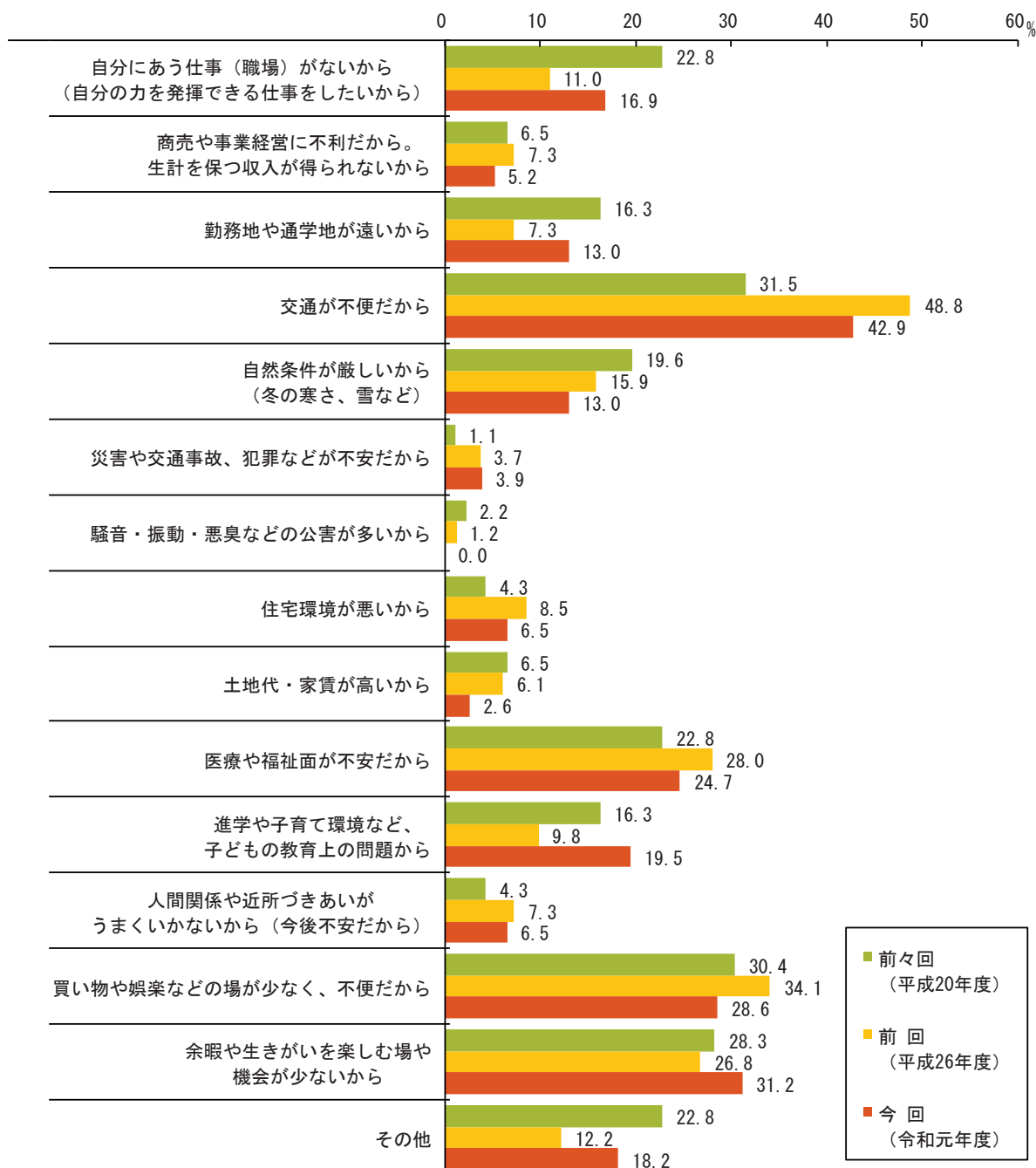
町外に移りたい理由



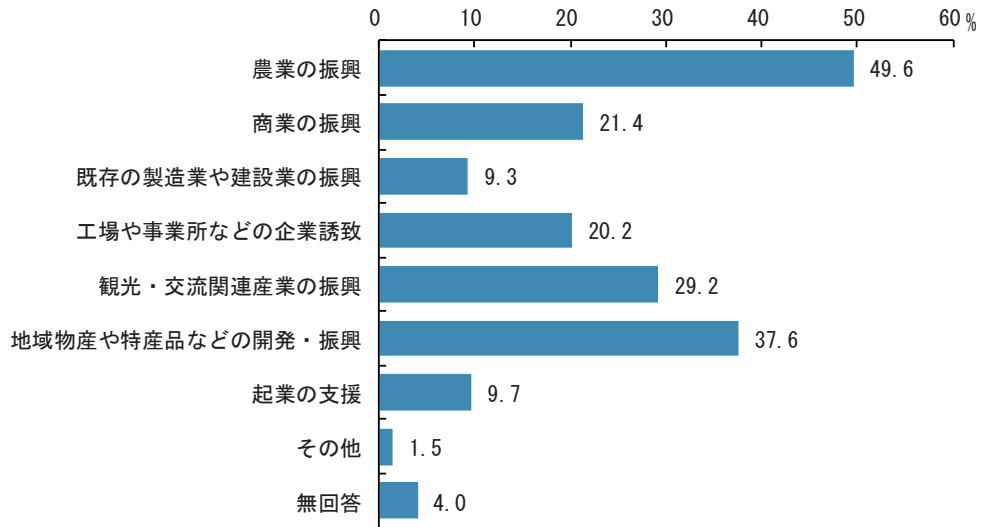
【平成 20 年度（前々回）、平成 26 年度（前回）との比較】

町外に移りたい理由は、前々回、前回と同様、「交通が不便だから」が最も多くなっている。次いで、前々回、前回では「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」が多かったが、今回は「余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから」が多くなっている。

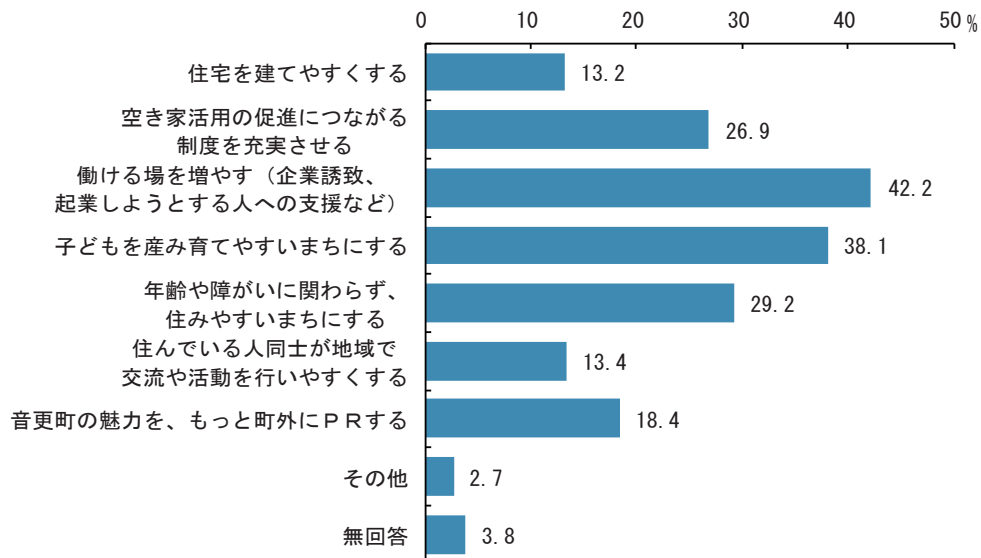
町外に移りたい理由（前々回、前回との比較）



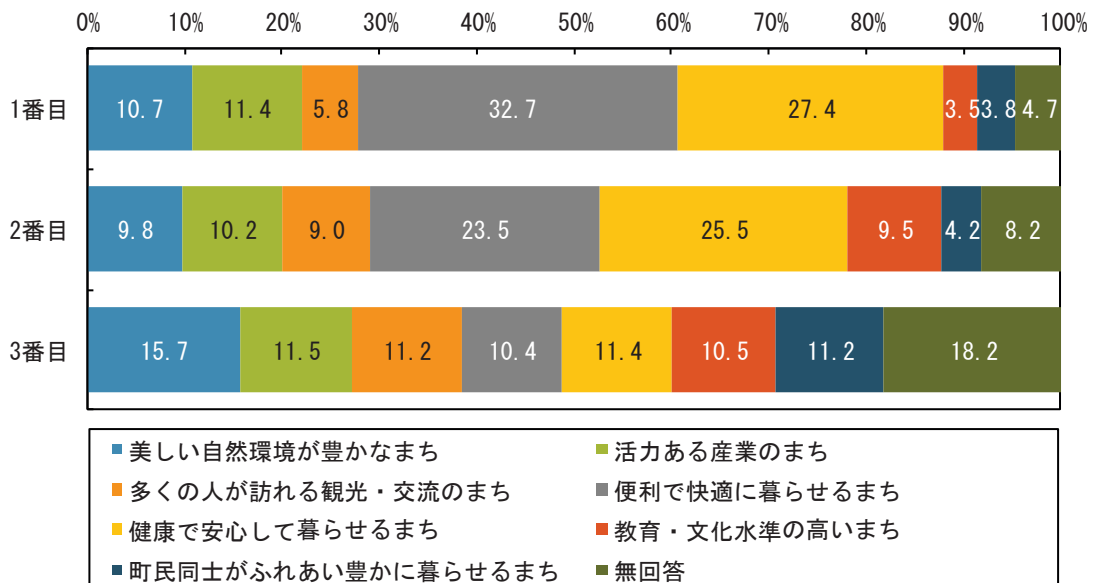
産業振興のために力を注ぐべき分野

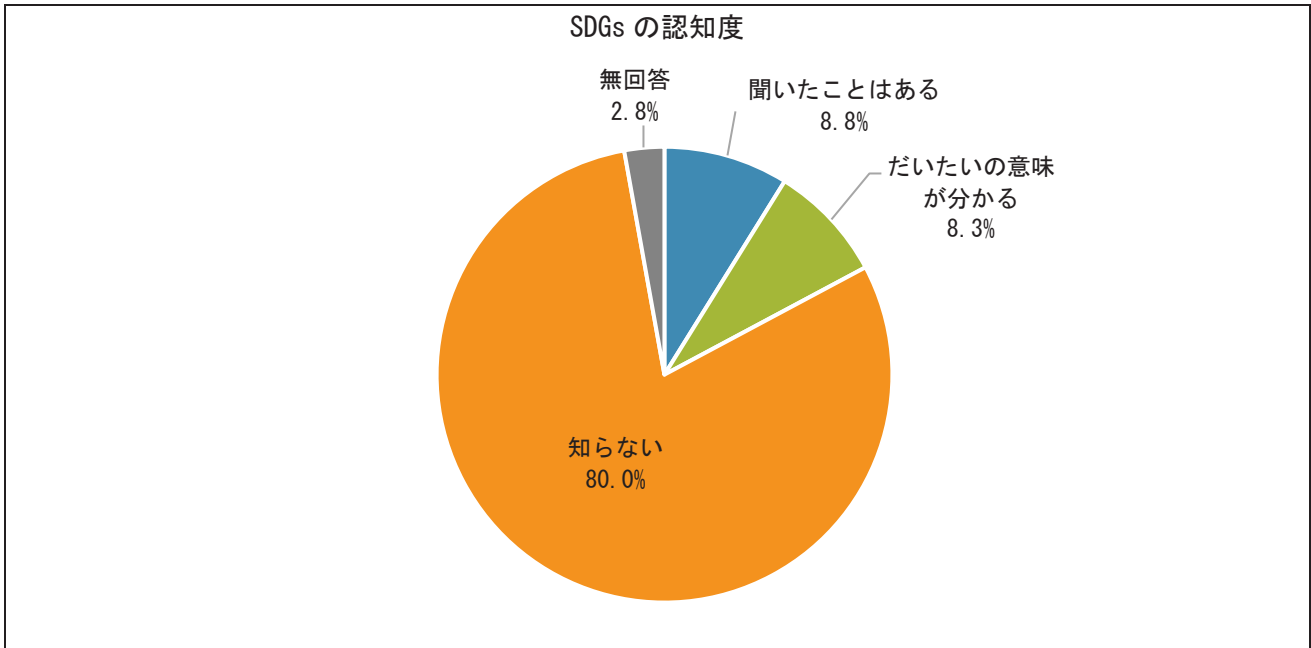


移住・定住促進のために重要なこと



希望するまちの姿





(2) 小学6年生向け

①性別

- ・「男子」が 44.3%、「女子」が 48.2%。

②現在の音更町について

- ・「そう思う」では「地元でとれた食べ物が食べられる」が最も多く 78.4%、次いで「自然がいっぱいある」が 69.8%。
- ・「そう思わない」では「ゴミが落ちていなくて、きれい」が最も多く 32.7%、次いで「災害が起きても安心」が 22.4%。

③住みやすさ

- ・「住みやすい」が最も多く 66.5%、次いで「どちらかといえば住みやすい」が 24.1%。

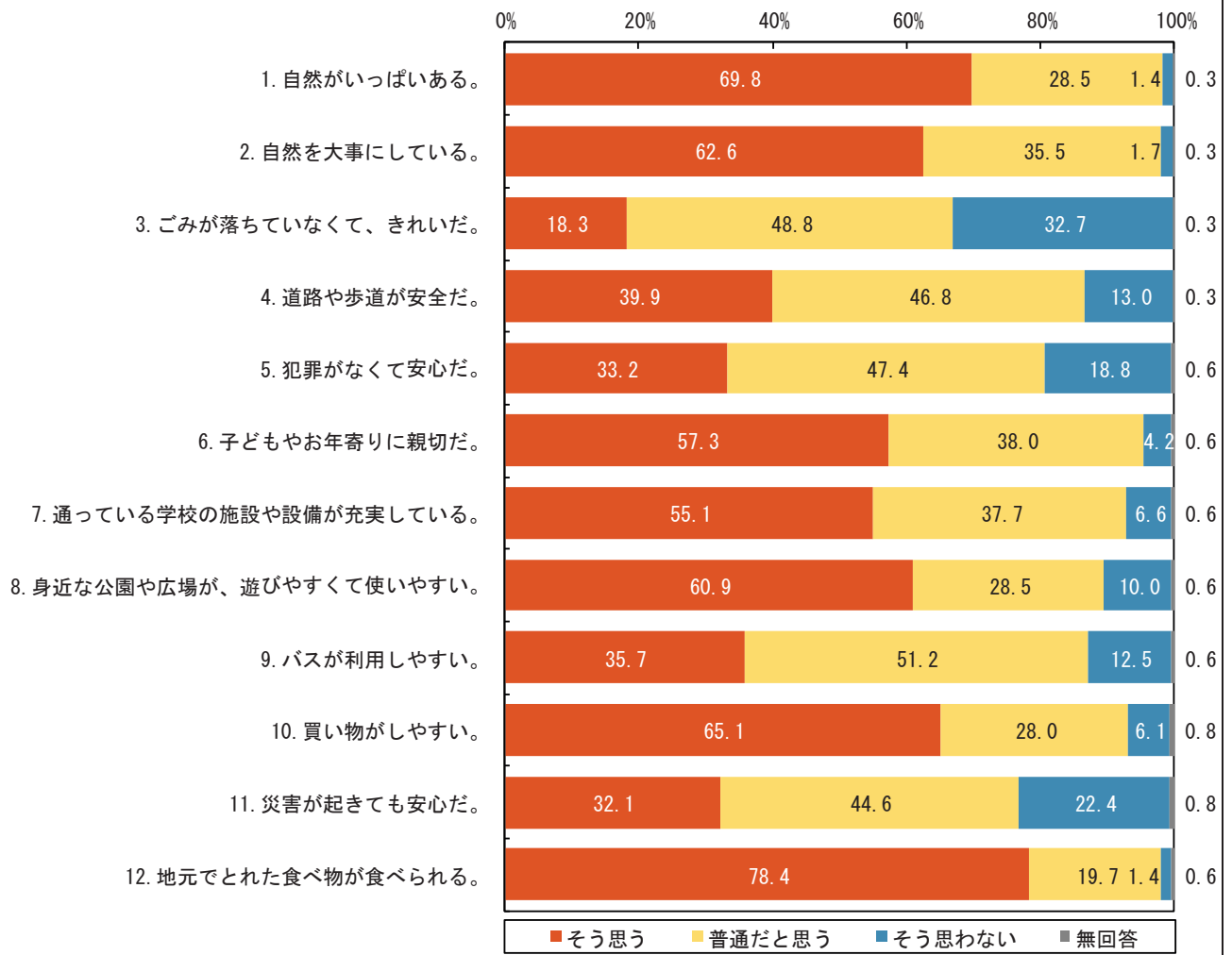
④希望するまちの姿

- ・「お店があり、交通などが便利なまち」が最も多く 68.4%、次いで「緑や川などの自然がゆたかなまち」及び「交通事故や事件、災害などが少ない安心できるまち」がそれぞれ 67.0%。

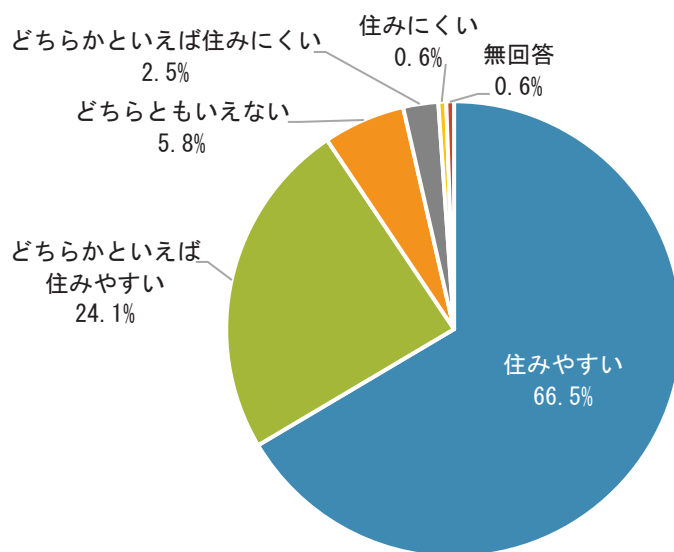
⑤持続可能な開発目標（SDGs）の認知度

- ・「知らない」が最も多く 80.6%、次いで「聞いたことはある」が 8.0%。認知度（「聞いたことはある」＋「だいたいの意味がわかる」）としては 11.0%。

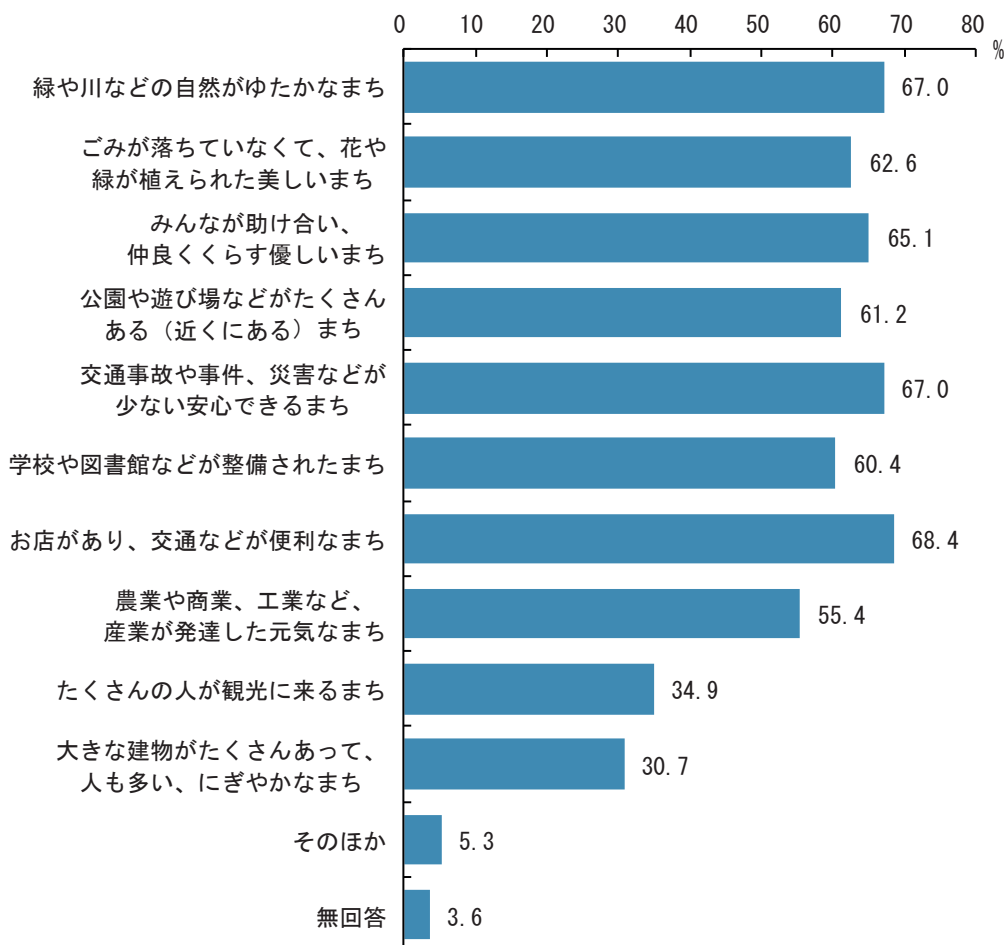
現在の音更町について



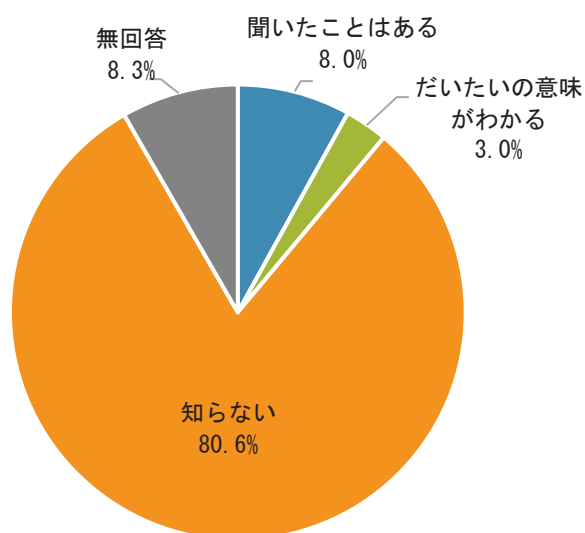
住みやすさ



希望するまちの姿



SDGs の認知度



(3) 中学2年生向け

①性別

- ・「男子」が45.4%、「女子」が46.6%。

②居住地

- ・「木野市街（鈴蘭地区・緑陽台地区・共栄台地区を含む）」が最も多く46.1%、次いで「宝来・ひびき野市街」が24.3%。

③暮らしの満足度

- ・満足度（「とても満足している」＋「まあまあ満足している」）が最も高かったのは、「木や川など、自然の豊かさ」の76.2%、次いで「地元でとれた（作った）食べ物を食べる機会」が70.4%。
- ・不満度（「とても不満である」＋「やや不満である」）が最も高かったのは、「通っている中学校の校舎や設備」の29.6%、次いで「公園や広場の使いやすさ」が16.0%。

④住みやすさ

- ・「住みやすい」が最も多く48.5%、次いで「どちらかといえば住みやすい」が30.8%。

⑤定住について

- ・「一度は町外に出るかもしれないが、音更町に戻ってきたい」が最も多く36.4%、次いで「他の市町村に移りたい」が23.5%。

⑥町外に移りたい理由

- ・「買い物や遊ぶ場が少ないから」が最も多く64.9%、次いで「将来やりたい仕事（職場）があるから」が52.6%。

⑦希望するまちの姿

- ・「1番目」「2番目」のいずれにおいても「便利で快適に暮らせるまち」が最も多くそれぞれ34.7%、25.0%。
- ・「3番目」では「美しい自然環境が豊かなまち」が最も多く18.7%。

⑧力を注ぐべきこと

- ・「お店を増やしたり、もっとにぎわいのあるまちにする」が最も多く52.2%、次いで「自然を守る」が47.3%。

⑨地域活動への関心

- ・「少し関心がある」が最も多く46.1%、次いで「あまり関心がない」が24.0%。

⑩地域活動やボランティアへの参加希望

- ・「なるべく参加したい」が最も多く46.4%、次いで「あまり参加したくない」が37.4%。

⑪参加を希望する活動

- ・「美しいまちをつくるための地域清掃活動や花などを植える活動」が最も多く46.9%、次いで「スポーツ行事や健康づくり活動などへの参加・協力」が43.4%。

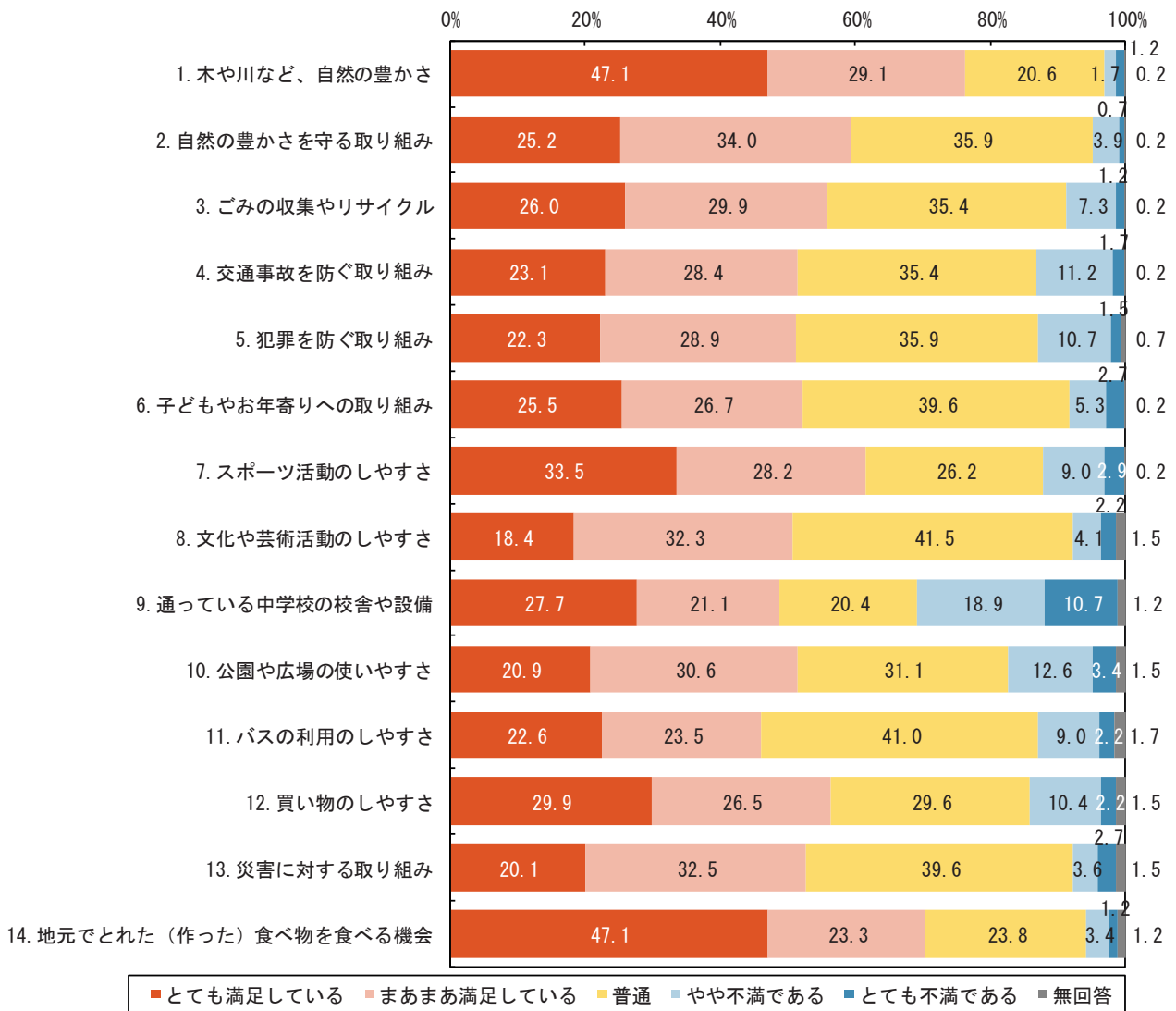
⑫持続可能な開発目標（SDGs）の認知度

- ・「知らない」が最も多く87.9%、次いで「聞いたことはある」が7.3%。認知度（「聞いたことはある」＋「だいたいの意味がわかる」）としては10.5%。

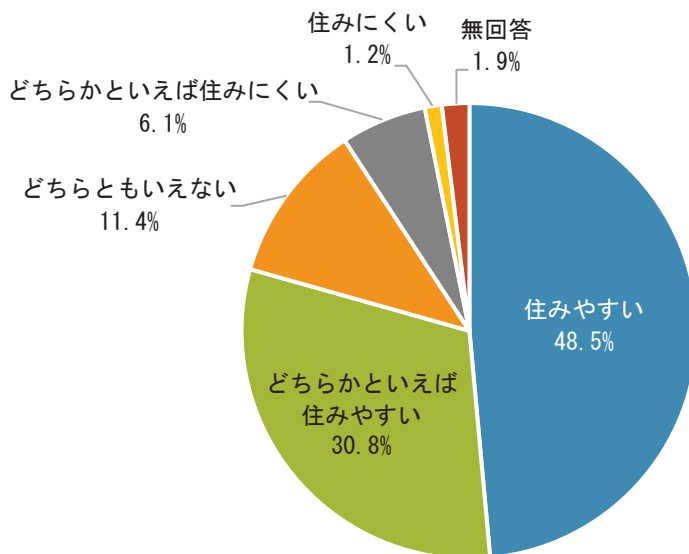
⑬関心のあるSDGsの17の目標

- ・「目標10 人や国の不平等をなくそう」が最も多く59.7%、次いで「目標6 安全な水とトイレを世界中に」が54.4%。

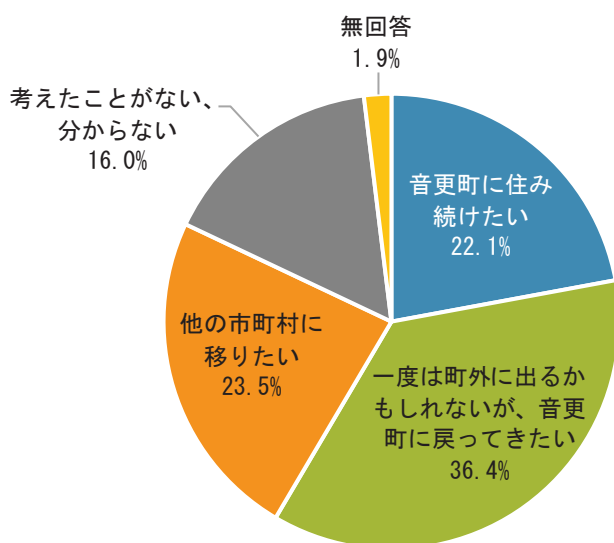
暮らしの満足度



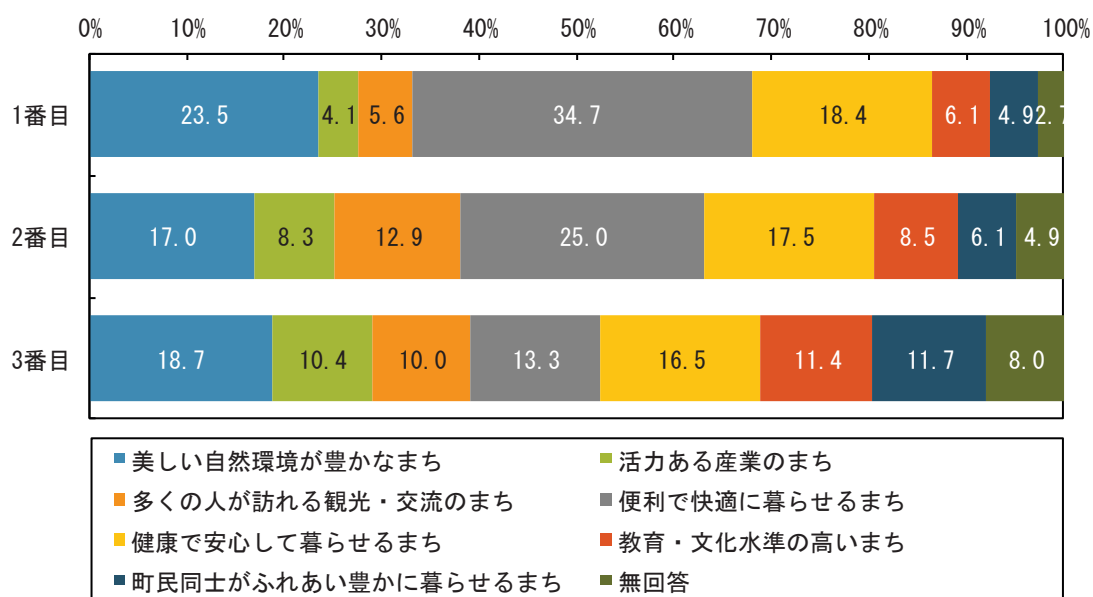
住みやすさ



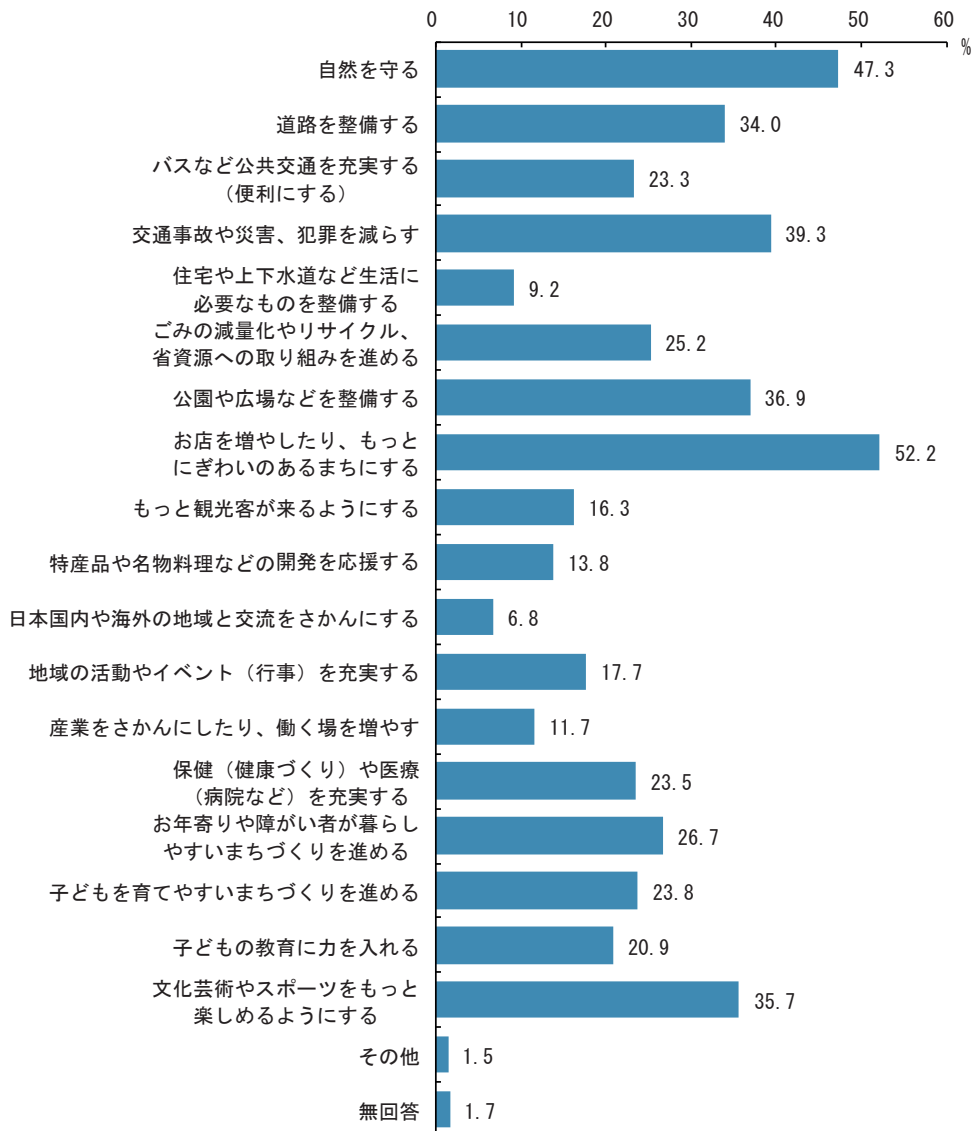
定住について



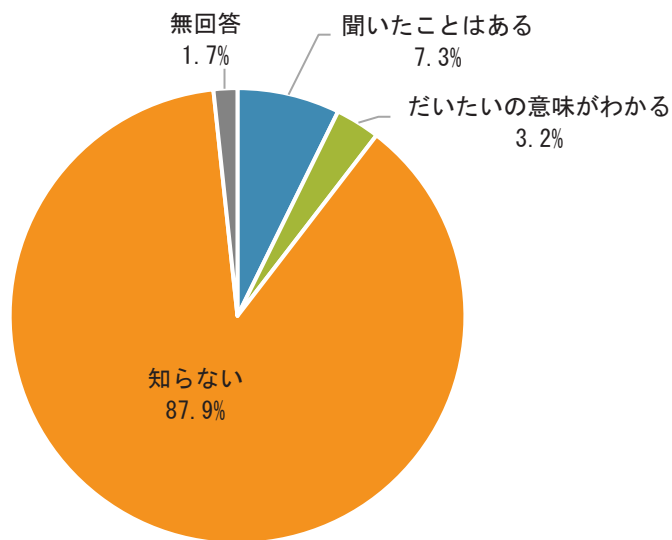
希望するまちの姿



力を注ぐべきこと



SDGs の認知度



(4) 音更高校 2 年生向け

①性別

- ・「男子」が 46.1%、「女子」が 50.4%。

②居住地

- ・「音更町内に住んでいる」が 71.3%、「音更町外に住んでいる」が 28.7%。

③暮らしの満足度

- ・満足度（「とても満足している」＋「まあまあ満足している」）が最も高かったのは、「木や川など、自然の豊かさ」の 75.7%、次いで「自然の豊かさを守る取り組み」が 67.8%。
- ・不満度（「とても不満である」＋「やや不満である」）が最も高かったのは、「バスの利用のしやすさ」の 12.2%、次いで「買い物のしやすさ」が 10.4%。

④住みやすさ

- ・「住みやすい」が最も多く 34.8%、次いで「どちらかといえば住みやすい」が 33.9%。

⑤定住について

- ・「一度は町外に出るかもしれないが、音更町に戻ってきたい」が最も多く 27.8%、次いで「他の市町村に移りたい」が 16.5%。

⑥町外に移りたい理由

- ・「将来やりたい仕事（職場）があるから」が最も多く 68.4%、次いで「買い物や遊ぶ場が少ないから」が 47.4%。

⑦希望するまちの姿

- ・「1 番目」では「便利で快適に暮らせるまち」が最も多く 43.5%。
- ・「2 番目」では「健康で安心して暮らせるまち」が最も多く 23.5%。
- ・「3 番目」では「美しい自然環境が豊かなまち」が最も多く 22.6%。

⑧力を注ぐべきこと

- ・「お店を増やしたり、もっとにぎわいのあるまちにする」が最も多く 67.0%、次いで「自然を守る」が 41.7%。

⑨地域活動への関心

- ・「少し関心がある」が最も多く 46.1%、次いで「あまり関心がない」が 27.8%。

⑩地域活動やボランティアへの参加希望

- ・「あまり参加したくない」が最も多く 45.2%、次いで「なるべく参加したい」が 37.4%。

⑪参加を希望する活動

- ・「小さい子どもの遊び相手になる子育て支援活動」が最も多く 44.7%、次いで「美しいまちをつくるための地域清掃活動や花などを植える活動」が 38.3%。

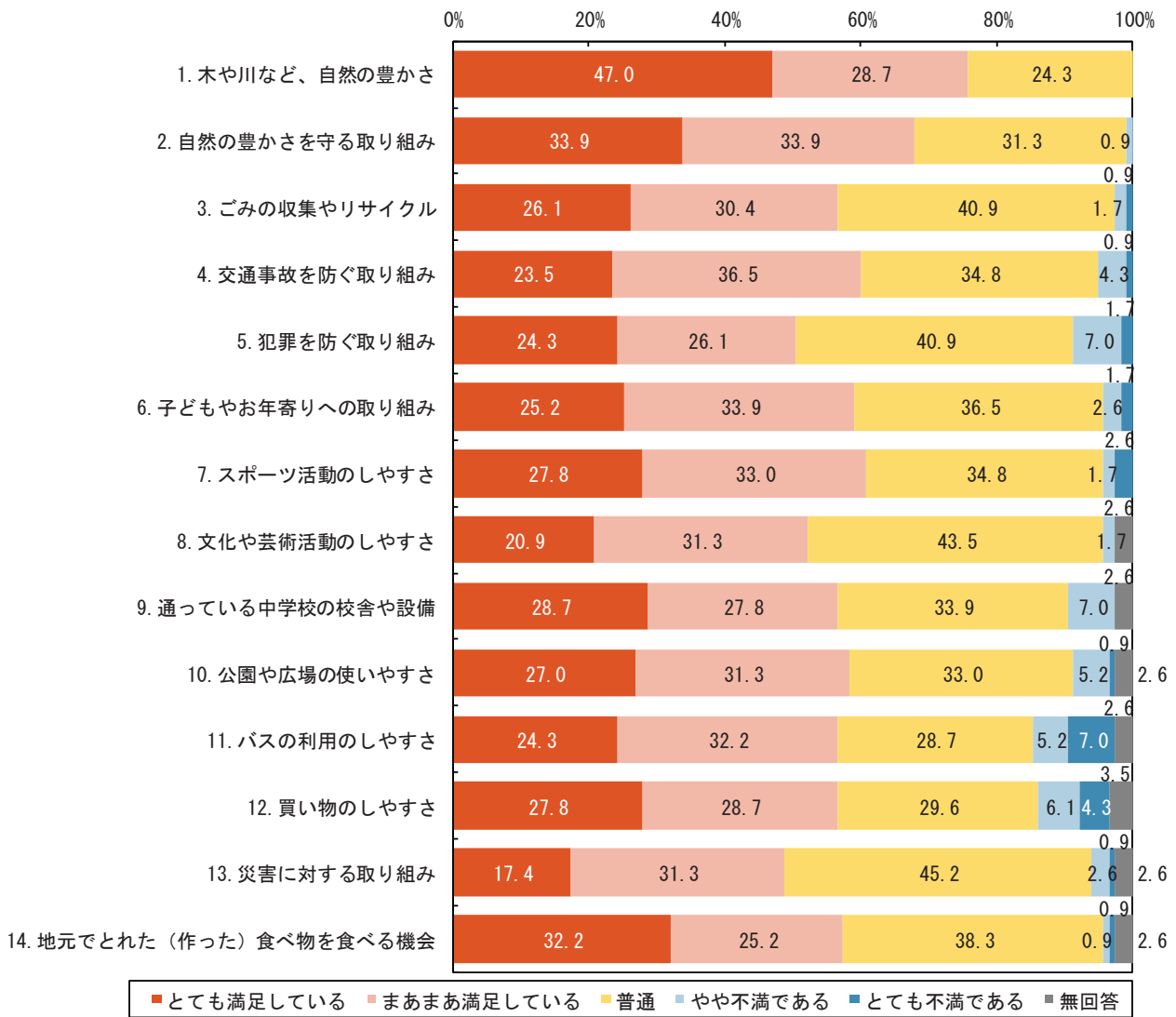
⑫持続可能な開発目標（SDGs）の認知度

- ・「知らない」が最も多く 84.3%、次いで「聞いたことはある」が 6.1%。認知度（「聞いたことはある」＋「だいたいの意味がわかる」）としては 11.3%。

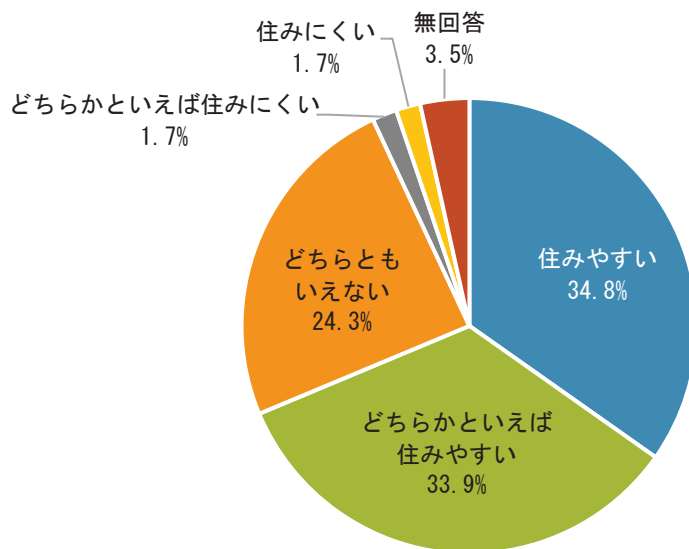
⑬関心のある SDGs の 17 の目標

- ・「目標 1 貧困をなくそう」及び「目標 10 人や国の不平等をなくそう」が最も多く 44.3%、次いで「目標 3 すべての人に健康と福祉を」が 42.6%。

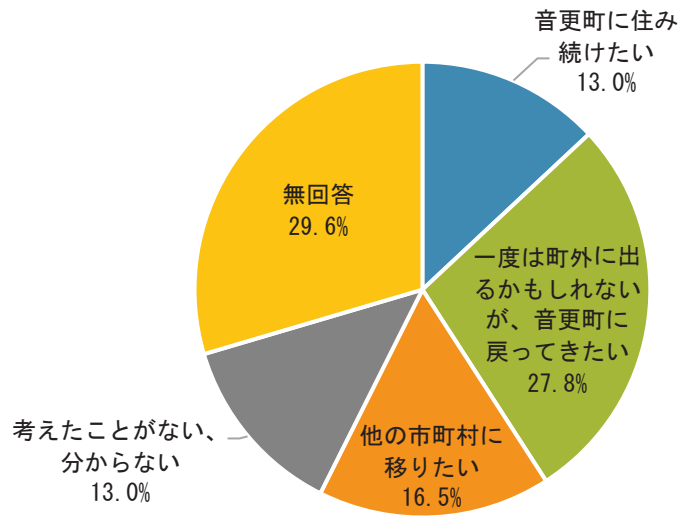
暮らしの満足度



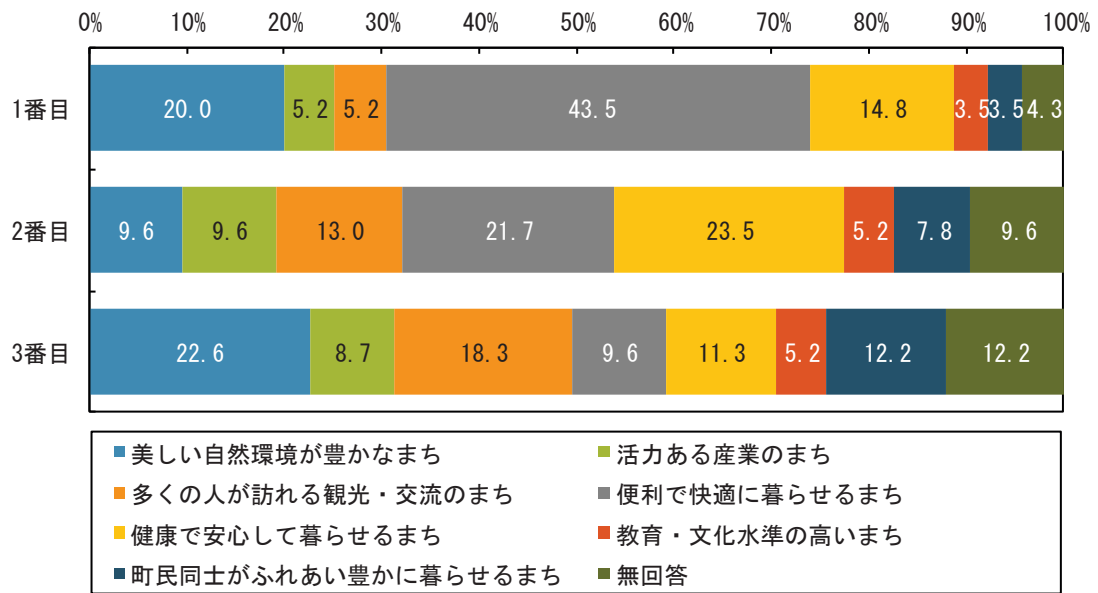
住みやすさ



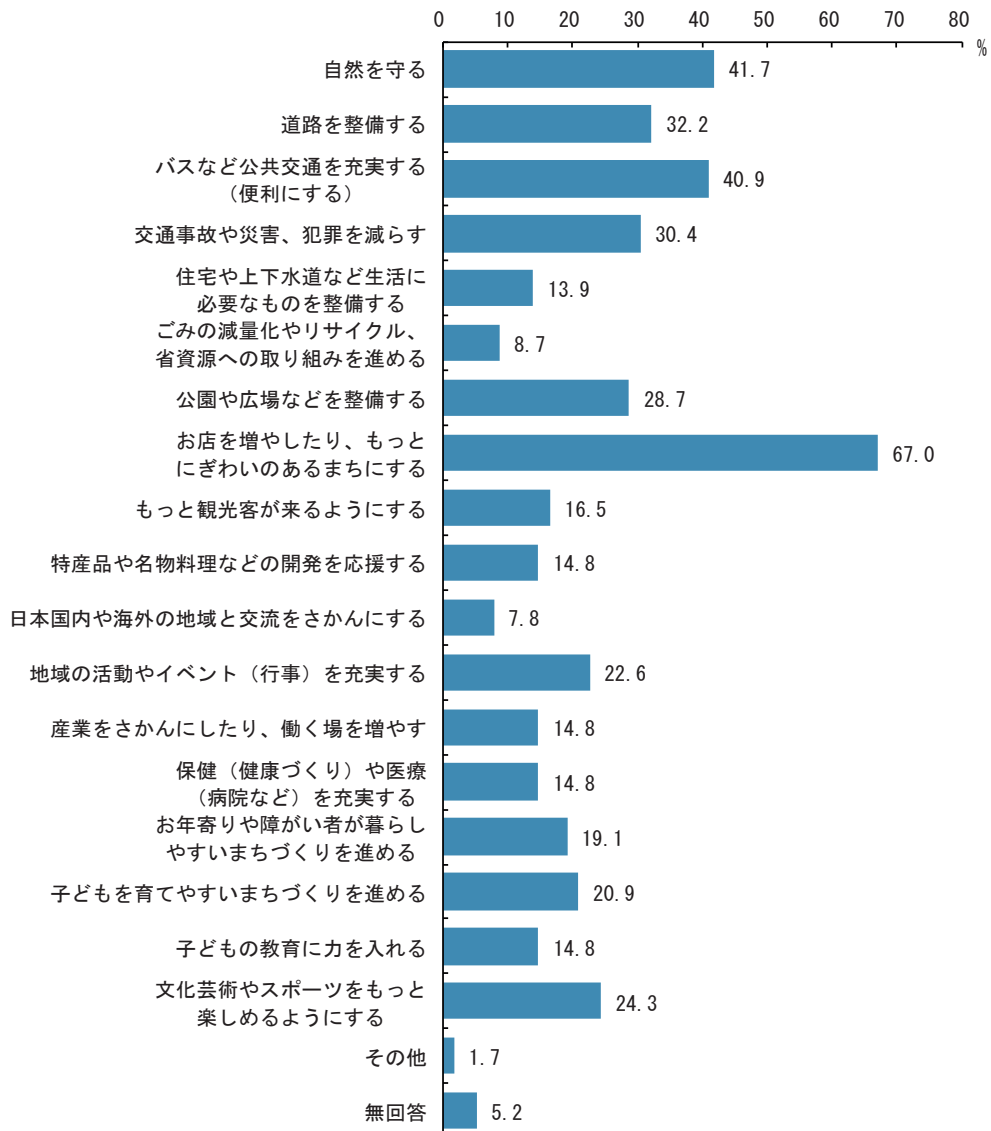
定住について



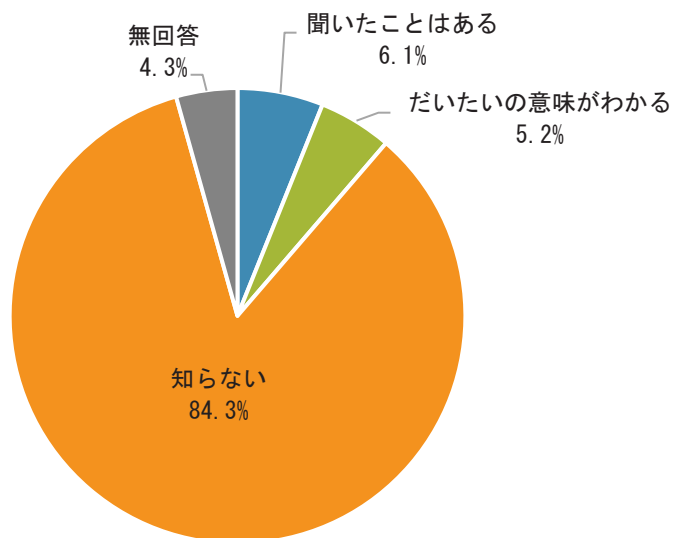
希望するまちの姿



力を注ぐべきこと



SDGs の認知度



(5) 高校2年生世代向け

①性別

- ・「男子」が52.6%、「女子」が37.8%。

②居住地

- ・「木野市街（鈴蘭地区・緑陽台地区・共栄台地区を含む）」が最も多く45.2%、次いで「宝来・ひびき野市街」が28.1%。

③暮らしの満足度

- ・満足度（「とても満足している」＋「まあまあ満足している」）が最も高かったのは、「木や川など、自然の豊かさ」の82.9%、次いで「地元でとれた（作った）食べ物を食べる機会」が67.4%。
- ・不満度（「とても不満である」＋「やや不満である」）が最も高かったのは、「通っている中学校の校舎や設備」の19.3%、次いで「バスの利用のしやすさ」が17.8%。

④住みやすさ

- ・「住みやすい」が最も多く51.9%、次いで「どちらかといえば住みやすい」が34.1%。

⑤定住について

- ・「一度は町外に出るかもしれないが、音更町に戻ってきたい」が最も多く35.6%、次いで「他の市町村に移りたい」が28.1%。

⑥町外に移りたい理由

- ・「将来やりたい仕事（職場）があるから」が最も多く78.9%、次いで「買い物や遊ぶ場が少ないから」が57.9%。

⑦希望するまちの姿

- ・「1番目」「2番目」のいずれにおいても「便利で快適に暮らせるまち」が最も多くそれぞれ40.0%、25.2%。
- ・「3番目」では「健康で安心して暮らせるまち」が最も多く19.3%。

⑧力を注ぐべきこと

- ・「お店を増やしたり、もっとにぎわいのあるまちにする」が最も多く52.6%、次いで「バスなど公共交通を充実する（便利にする）」が41.5%。

⑨地域活動への関心

- ・「少し関心がある」が最も多く40.7%、次いで「あまり関心がない」が33.3%。

⑩地域活動やボランティアへの参加希望

- ・「なるべく参加したい」が最も多く40.7%、次いで「あまり参加したくない」が34.8%。

⑪参加を希望する活動

- ・「小さい子どもの遊び相手になる子育て支援活動」及び「各種イベントや祭りなどへの参加・協力」が最も多くそれぞれ41.1%、次いで「美しいまちをつくるための地域清掃活動や花などを植える活動」が39.7%。

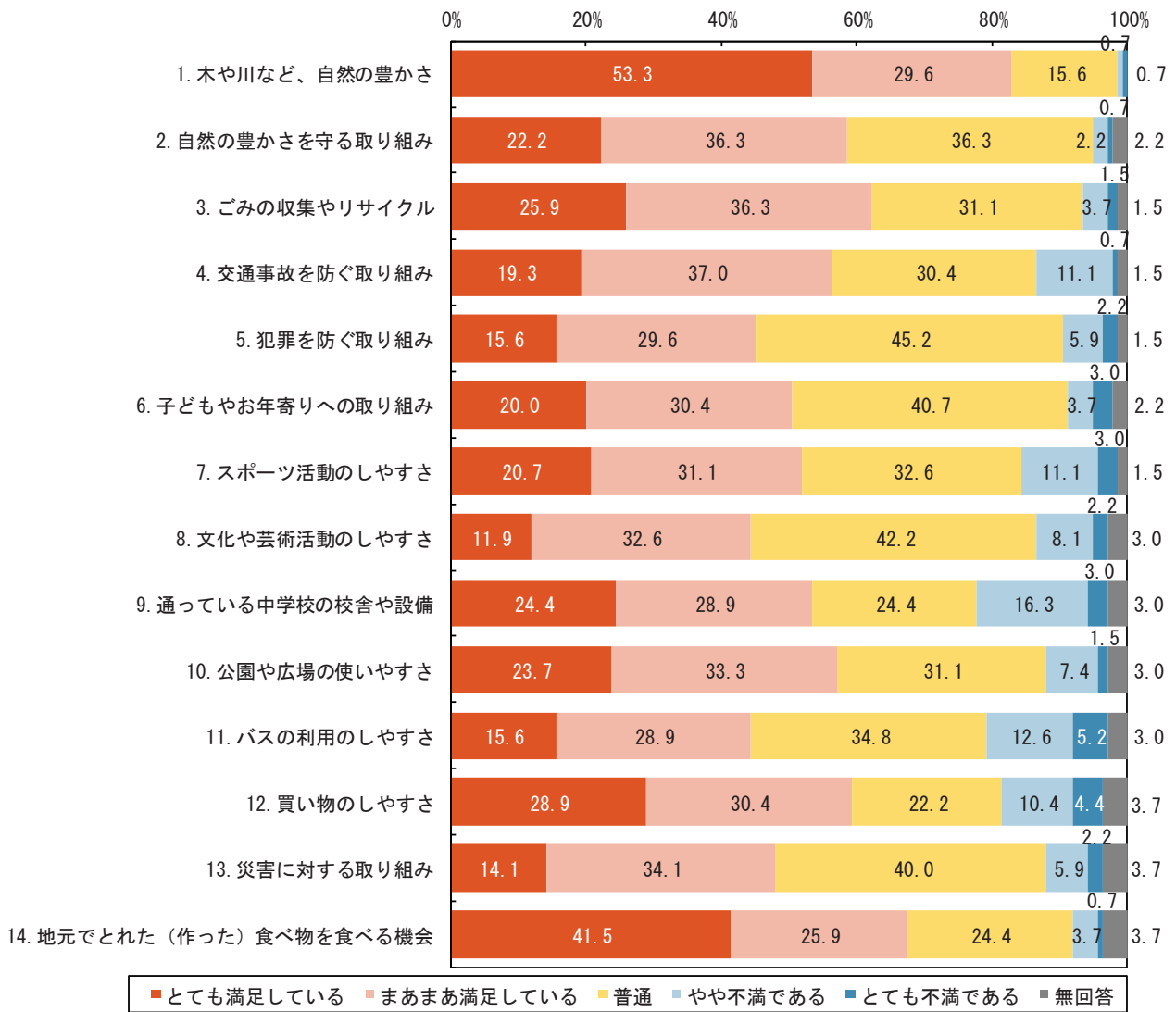
⑫持続可能な開発目標（SDGs）の認知度

- ・「知らない」が最も多く83.7%、次いで「聞いたことはある」が9.6%。認知度（「聞いたことはある」＋「だいたいの意味がわかる」）としては14.8%。

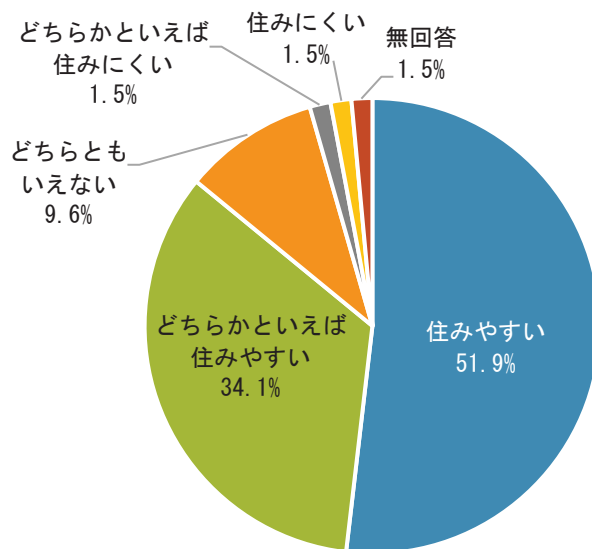
⑬関心のあるSDGsの17の目標

- ・「目標10 人や国の不平等をなくそう」が最も多く55.6%、次いで「目標16 平和と公正をすべての人に」が50.4%。

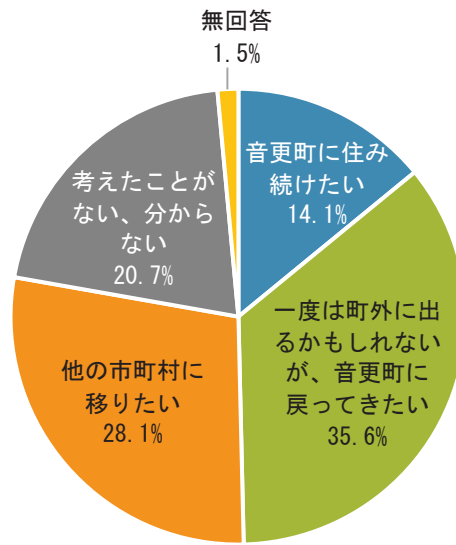
暮らしの満足度



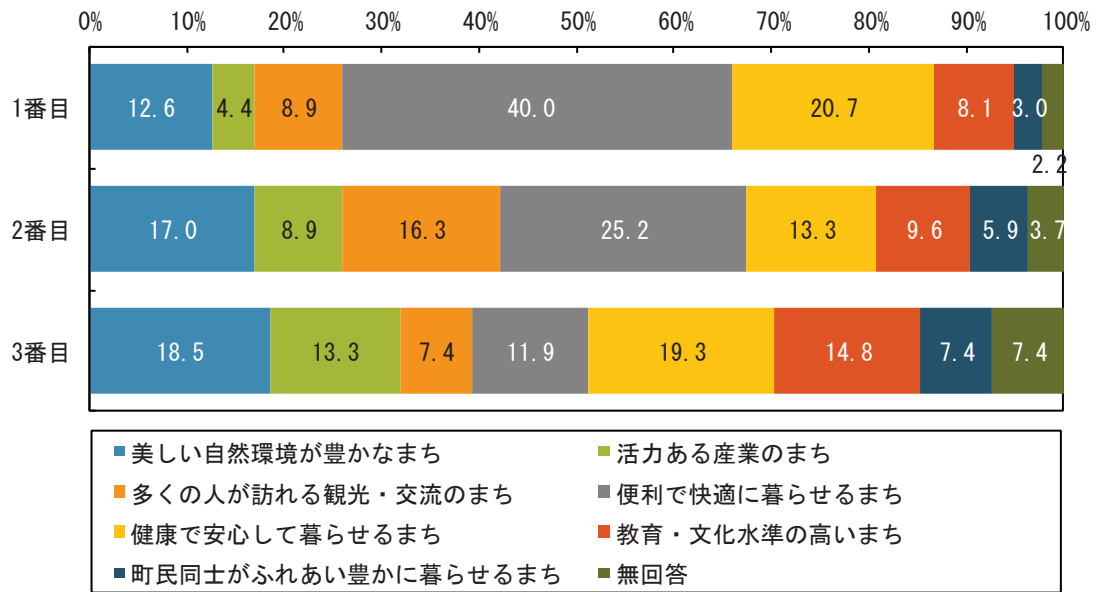
住みやすさ



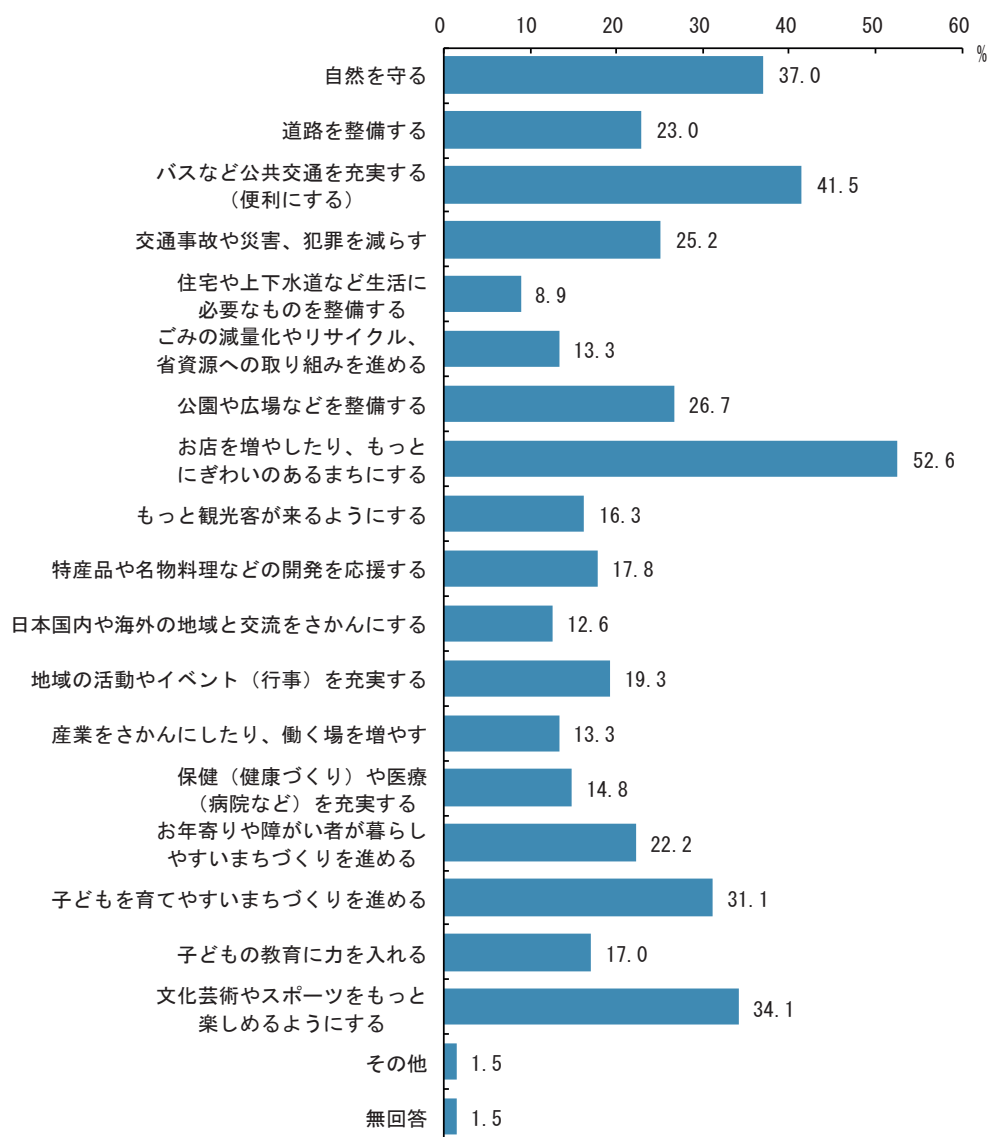
定住について



希望するまちの姿



力を注ぐべきこと



SDGsの認知度

